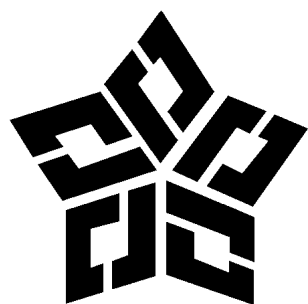


消 防 年 報

令 和 5 年 版



奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部



消防本部章

(平成 20 年 4 月 1 日制定)

はじめに

この年報は、令和 4 年中の奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部管内（奥州市、金ヶ崎町）における火災・救急・救助等の実態と、令和 5 年 4 月 1 日現在の消防力の現況及び主要な消防事情について収録し、今後の消防行政運営上の参考に資するとともに、当消防本部の現状を紹介するため編集したものです。

この年報により、消防行政について御理解をいただき、一層の御支援を賜りますとともに、地域社会における消防防災指針の一助として広く活用していただければ幸いです。

令和 5 年 10 月

奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部

消防長 千葉 典弘

目 次

1 奥州金ヶ崎消防本部管轄区域図	1
2 一目統計	2
I 総務編	
1 消防本部の組織	4
2 消防庁舎の概要	5
3 職員の配置状況	6
4 年齢別消防吏員数	7
5 職員の勤続年数	7
6 職員の教育・研修派遣状況	8
7 職員的主要な技能資格取得状況	9
7 令和5年度歳入歳出予算（当初）の概要	9
8 消防車両及び職員の基準と充足率	10
9 応援協定等	11
10 令和4年度中の主要な行事	13
11 管理者等就任状況	15
12 職務内容（本部、署）	16
II 予防編	
1 予防行政	
（1）防火対象物の実態と査察実施状況	23
（2）防火対象物定期点検報告制度と特例認定の実態	24
（3）防火管理者の選任現況	24
（4）公表制度に係る主要な消防用設備等の設置現況	25
（5）建築物の許可等の同意及び通知件数の状況	25
2 危険物行政	
（1）危険物施設の設置状況	26
（2）危険物規制対象施設数の現況	26
（3）危険物関係申請件数及び手数料徴収状況	27
（4）危険物許可処理状況	27
（5）危険物施設設置数の推移	28
（6）危険物施設における過去5年間の事故発生状況	28
3 民間防火組織の現況	29
III 警防編	
1 消防機動力	
（1）消防車両の配置状況	30
（2）消防車両の現有と使用状況	31
（3）緊急消防援助隊登録車両	32
2 月別風速・気温・湿度・降水量状況	33
3 無線系統図	34
4 緊急通報装置を設置している世帯	35
5 多言語通訳サービス	35
6 Net119 緊急通報について	36
7 救急ボイストラ（多言語音声翻訳アプリ）サービス	36

8 通信施設の状況	37
9 119番月別受理件数	37

IV 火災統計

1 火災	
(1) 火災の発生状況（過去5年）	38
(2) 出火原因の状況（過去5年累計）	38
(3) 火災の概要	39
(4) 令和4年火災発生状況	40
(5) 時間別火災発生状況	41
(6) 火災による損害状況	42
(7) 出火原因の状況	43

V 救急・救助統計

1 救急	
(1) 令和4年救急概況	44
(2) 救急出場及び救急搬送人員の推移	44
(3) 署所別救急活動状況	45
(4) 月別救急活動状況	45
(5) 事故種別傷病程度別搬送人員	46
(6) 事故種別年齢区分別搬送人員	46
(7) 過去5年の救急関係所要時間	47
(8) 救急隊員が行った応急処置件数	47
(9) 事故種別搬送医療機関別搬送人員	48
(10) 時間別救急出動件数	49
(11) 事故種別不搬送理由別不搬送件数	49
(12) ドクターヘリ要請件数	49
(13) ドクターヘリ要請に係る事故種別	49
(14) 周産期関係救急出動状況	50
(15) バイスタンダーと蘇生率の推移	50
(16) 住民に対する応急手当普及啓発指導状況	50
2 救助	
(1) 救助業務活動状況の推移	51
(2) 危険排除等業務活動状況の推移	51
(3) 防災ヘリ要請件数	52

VI 参考資料

1 消防団管轄区域	53
2 消防団の概要	53
3 令和5年度消防費歳出決算額（当初）の状況	54
4 消防水利の現況	54
5 消防機械の現有状況	55
6 階級別消防団員数	55

1 奥州金ヶ崎消防本部管轄区域図

組合管内図



奥州市章

奥州市の「奥のO」と「州のS」の外郭に、中心の「米」を納めて「奥」の字を簡略化しています。奥州市を流れる北上川とその澄んだ空を青で、主要産業である農林業を緑で表し、夢のある未来に向かって向上発展する市勢・市民の姿をシンボライズしています。

奥州市のあらまし

奥州市は、岩手県の内陸南部に位置し、北は北上市・西和賀町・金ヶ崎町・花巻市、南は一関市・平泉町、東は遠野市・住田町、西は秋田県と接しています。

総面積は、993.30 平方キロメートルと广大で、東西に約 57 キロメートル、南北に約 37 キロメートルの広がりがあります。

地域の中央を北上川が流れており、北上川西側には、胆沢川によって開かれた胆沢扇状地が広がり、水と緑に囲まれた散居のたたずまいが広がっています。

奥州市最高峰の焼石岳（1,548 メートル）を主峰とする西部地域の焼石連峰は、ブナの原生林が多く残されています。また、北上川東側には、北上山地につながる田園地帯が広がり、東端部には、種山高原、阿原山高原が連なっており、地域全体が緑のあふれる豊かな自然に恵まれています。



金ヶ崎町章

昭和 30 年、金ヶ崎町・永岡村が合併したことにより、新金ヶ崎町にふさわしい町章として制定されました。カネガサキの「カ」、ナガオカの「ナ」をデザインしたものです。

金ヶ崎町のあらまし

金ヶ崎町は、岩手県南西内陸部に位置し、北は北上市、東は北上川、南は胆沢川を境として奥州市と接しています。

総面積は、179.76 平方キロメートルで、東西に 21.9 キロメートル、南北に 14.4 キロメートルの広がりがあります。

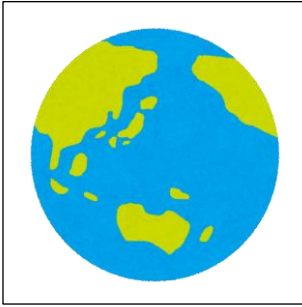
地勢は、西部の奥羽山脈系の駒ヶ岳を有する山岳高地から東部の平坦地との間に 1,300 メートル以上の標高差があり、西から東にかけては、緩い傾斜となっています。

金ヶ崎城郭跡を含む城内・諏訪小路地区は、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、自然と史跡に恵まれたたたずまいを呈しています。

2 一目統計

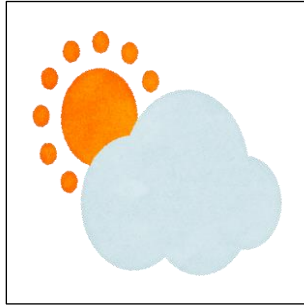
(令和5年4月1日現在)

自然環境・人口・世帯



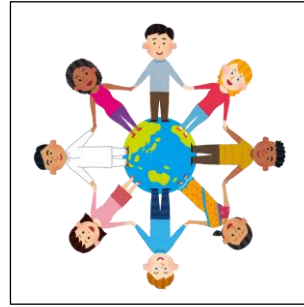
管轄面積

1市1町
1173.06 k㎡



気象

年平均気温 11.8度
年平均湿度 85.4%



人口

126,006人



世帯数

52,631世帯

消防予算・構成・人事

(令和5年4月1日現在)



消防予算

20億5596万円



署・所

消防本部 1
消防署 2
分署・分遣所 5



職員数

定数 170人
実員 172人(定数外含む)
女性職員 9名
平均年齢 40歳5か月



団員数

定数 2,300人
実員 1,856人
(うち女性 65人)

消防力

(令和5年4月1日現在)



ポンプ車等

ポンプ車 3台
水槽付きポンプ車 6台



特殊車両

はしご車 1台
化学車 2台
救助工作車 1台
大型水槽車 2台



救急車

高規格救急車 9台
(うち非常用 1台)

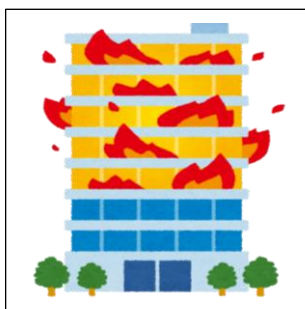


水利

消火栓 2,395個
防火水槽 772個

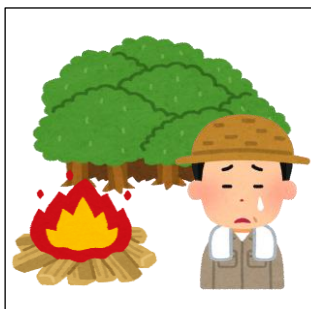
火災・救急・救助

(令和4年中)



火災

火災件数 41件
死者 2人
負傷者 7人



出火原因 (不明その他除く)

1位 たき火
2位 火入れ
3位 放火、放火の疑い



救急

救急出動件数
5,995件
(1日平均16.4件)

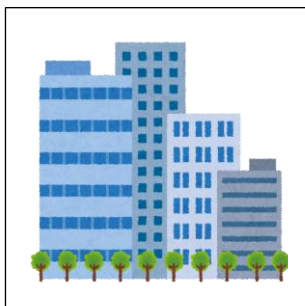


救助

出動件数 80件
救助人員 37人

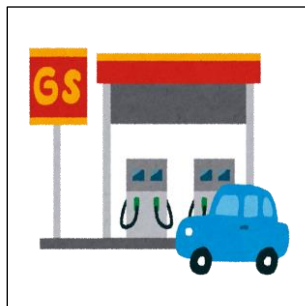
予防

(令和5年4月1日現在)



防火対象物

対象物数 5,726件



危険物施設数

許可施設数 631件
製造所 1件
貯蔵所 437件
取扱所 193件



防火クラブ他

幼年消防 42クラブ
少年消防 3クラブ
婦人消防協会 38隊

通信指令

(令和4年中)



119番受理件数

7,170件



緊急通報装置利用者数 (安全センター方式)

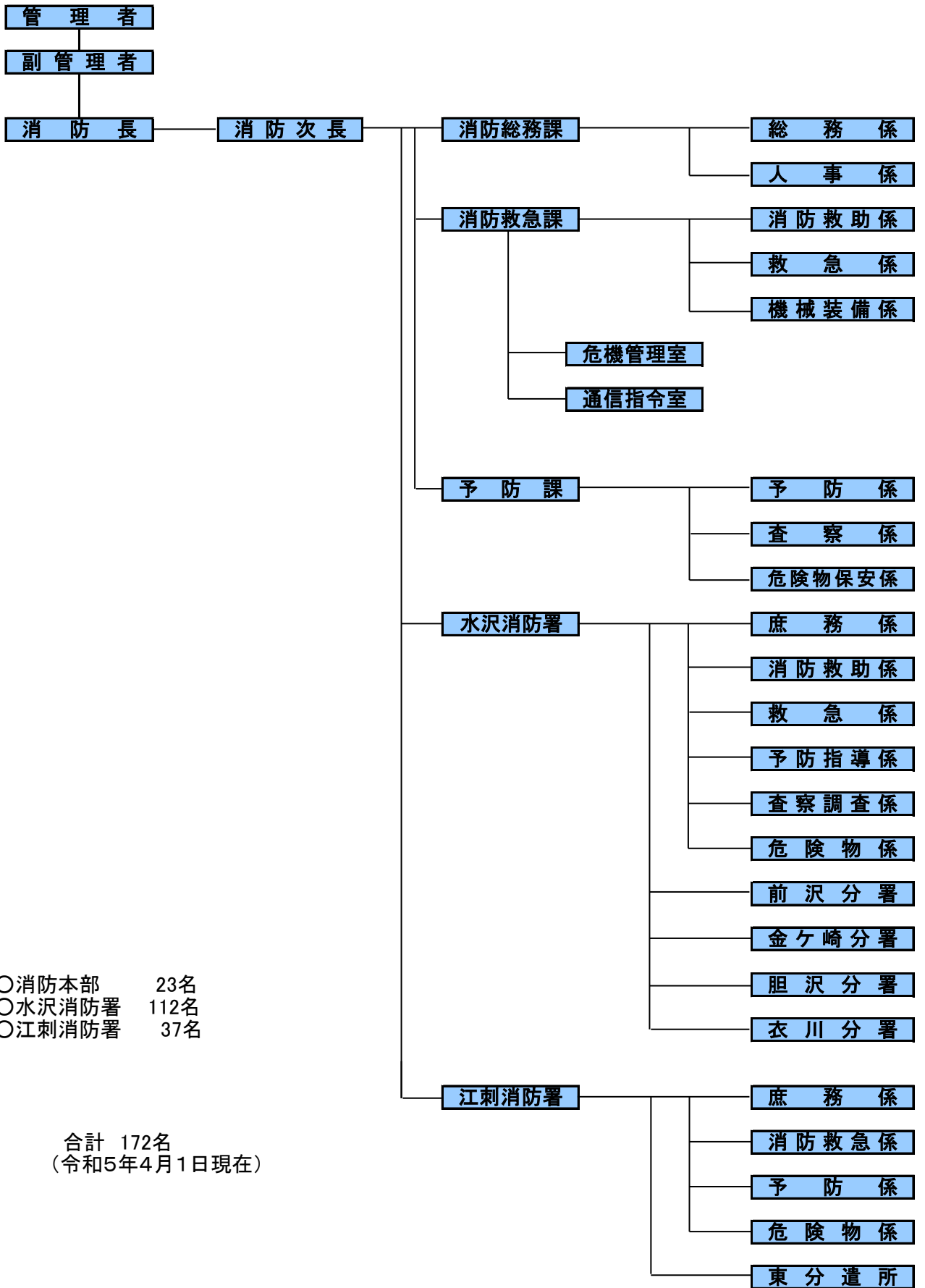
321人

Net119緊急通報装置登録者数

41名

I 総務編

1 消防本部の組織



- 消防本部 23名
- 水沢消防署 112名
- 江刺消防署 37名

合計 172名
(令和5年4月1日現在)

2 消防庁舎の概要

署所別	所在地	建物構造	建物面積(m ²)	敷地面積(m ²)	建築年月日
消防本部 水沢消防署	奥州市水沢 大鐘町二丁目16番地	SRC3階建	建 853.54	4,045.16	S 53. 3
		訓練棟6階建	延 1,893.29		
第2車庫		S平屋	建 127.14		H 3. 3
救急消毒室 併設訓練棟	S2階建	建 98.54	H 13. 3		
水沢消防署 前沢分署	奥州市前沢 古城字島田135番地	SRC平屋	建 784.91	4,783	H 18. 3
水沢消防署 金ヶ崎分署	金ヶ崎町西根 北宿内78番地1	SRC平屋	建 775.23	7,456.52	H 21. 5
水沢消防署 胆沢分署	奥州市胆沢 小山字小十文字39番地2	SRC平屋	建 787.12	7,676.97	H 25. 3
水沢消防署 衣川分署	奥州市衣川六道7番地1	SRC平屋	建 752.56	3,669	H 19. 3
江刺消防署	奥州市江刺 西大通り3番8号	SRC3階建	建 787.12 延 1,724.86	41,661.02 (総合支所同敷地)	H 15. 3
江刺消防署 東分遣所	奥州市江刺 玉里字青篠199番地5	S平屋	建 328.50	661.20	H 28. 3

3 職員の配置状況

令和5年4月1日現在(人)

		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	うち 女性	消 防 副 士 長	うち 女性	消 防 士	うち 女性	合 計	うち 女性
消 防 本 部	消 防 長	1										1	
	消 防 次 長		1									1	
	消 防 総 務 課		(1)※	1	2			1				4	
	消 防 救 急 課		1	6	3	2	1					12	1
	予 防 課		1	1	2	1						5	
	小 計	1	3	8	7	3	1	1				23	1
水 沢 消 防 署	本 署		1	5	11	18	1	6	1	11	2	52	4
	前 沢 分 署			1	2	8		2		2	1	15	1
	金 ヶ 崎 分 署			1	2	8	1	2		2		15	1
	胆 沢 分 署			1	2	8	1	2		2		15	1
	衣 川 分 署			1	2	8		2	1	2		15	1
	小 計		1	9	19	50	3	14	2	19	3	112	8
江 刺 消 防 署 (東 分 遣 所 含 む)			1	4	10	10		6		6		37	
合 計		1	5	21	36	63	4	21	2	25	3	172	9

※は、次長兼務

4 年齢別消防吏員数

令和5年4月1日現在(人)

区 分	計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	172	1	5	21	36	63	21	25
21歳未満	0							
21歳以上26歳未満	17						1	16
26歳以上31歳未満	17					3	6	8
31歳以上36歳未満	32					17	14	1
36歳以上41歳未満	26				3	23		
41歳以上46歳未満	17				8	9		
46歳以上51歳未満	32			7	20	5		
51歳以上56歳未満	22		2	11	5	4		
56歳以上	9	1	3	3		2		

全職員平均年齢 40歳5カ月

5 職員の勤続年数

令和5年4月1日現在(人)

区 分	計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	172	1	5	21	36	63	21	25
5年未満	15	1						14
5年以上10年未満	22						11	11
10年以上15年未満	31					21	10	
15年以上20年未満	26				3	23		
20年以上25年未満	18				9	9		
25年以上30年未満	29			9	15	5		
30年以上	31		5	12	9	5		

全職員平均勤続年数 18年8カ月

6 職員の教育・研修派遣状況

令和5年4月1日現在(人)

区 分		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
消 防 大 学 校	幹 部 科			1		1	
	上 級 幹 部 科						
	警 防 科						
	予 防 科						
	救 急 科				1		
	救 助 科						
	火 災 調 査 科						
	女 性 活 躍 推 進 コ ー ス		1				
	査 察 業 務 マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス					1	
消 防 学 校	初 任 教 育	3		7	3	4	
	幹 部 教 育	初 級 幹 部 科					
		中 級 幹 部 科					
		初 ・ 中 級 幹 部 科	4	4	4	4	4
		上 級 幹 部 科	3	3	3	2	2
	専 科 教 育	警 防 科		4			3
		火 災 調 査 科	4	4	4	4	4
		予 防 総 合 科	4			4	
		救 急 科		3	1	3	4
		救 助 科	4	4	4	4	4
		特 殊 災 害 科					
	特 別 教 育	女 性 活 躍 推 進 講 習	3	1	1	1	2
無 線 通 信 講 習		2	2	2	2	2	
土 砂 災 害 消 防 活 動 講 習		3	3				
救 急 救 命 東 京 研 修 所			1	1	1	1	

7 職員の主な技能資格取得状況

令和5年4月1日現在(人)

運 転	大型自動車第一種免許	162	労 働 安 全	衛生管理者	13
	普通自動車第一種免許	172		安全衛生推進者	11
	小型船舶操縦免許(二級)	46		整備管理者	27
	小型車両系建設機械の運転業務に係る特別教育	55		玉掛け技能講習	82
無 線	陸上特殊無線技士	144	そ の 他	小型移動式クレーン運転技能講習	85
予 防	予防技術資格者(防火査察)	37		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	51
	予防技術資格者(消防設備)	31		チェーンソーによる伐木等特別教育	7
	予防技術資格者(危険物)	32		スィフトウォーターレスキュー	30
救 急	救急救命士	66		テクニカルロープレスキュー	37

8 令和5年度歳入歳出予算(当初)の概要

(1) 歳 入

区 分	令和5年度(A)		令和4年度(B)		比 較 (A)-(B) (千円)
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)	
1 分担金及び負担金	1,978,823	96.2	1,937,507	98.0	41,316
2 使用料及び手数料	1,852	0.1	1,853	0.1	△ 1
3 国庫支出金	0		0		0
4 県支出金	1	0.0	0		1
5 財産収入	0		0		0
6 繰越金	5,000	0.2	5,000	0.3	0
7 諸収入	10,388	0.5	17,139	0.9	△ 6,751
8 組合債	59,900	2.9	15,700	0.8	44,200
廃款 寄付金	-	0.0	1	0.0	△ 1
歳入合計	2,055,964	100.0	1,977,200	100.0	78,764

(2) 歳 出

区 分	令和5年度(A)		令和4年度(B)		比 較 (A)-(B) (千円)
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)	
1 消 防 費	1,934,399	94.1	1,856,899	93.9	77,500
2 公 債 費	116,565	5.7	115,301	5.8	1,264
3 予 備 費	5,000	0.2	5,000	0.3	0
歳出合計	2,055,964	100.0	1,977,200	100.0	78,764

9 消防車両及び職員の基準と充足率

令和5年4月1日現在

区 分		基 準	現 有	過 不 足 数	充 足 率
署所数		7	7	0	100%
車 両	消防ポンプ自動車	10	10	0	100%
	はしご車	1	1	0	100%
	化学自動車	2	2	0	100%
	救急自動車	8	8	0	100%
	救助工作車	1	1	0	100%
	指揮車	2	2	0	100%
	その他車両	—	26	—	—
	合 計	24	50	0	100%

人 員	警防要員	消防隊員	132	124	△ 8	94%
		救急隊員	0	0	0	0%
		救助隊員	15	16	1	107%
		指揮隊員	18	8	△ 10	44.4%
	通信員		5	5	0	100%
	予防要員		4	4	0	100.0%
	総務事務等に 必要な人員		10	15	5	150.0%
	合 計		184	172	△ 12	93.5%

※その他車両の内訳は、非常用車両4台、資機材搬送車3台、小型動力ポンプ付き水槽車1台、広報車8台、連絡車1台、訓練指導車2台、ボートトレーラー1台、ホイールローダ6台である。

※救急隊員は消防隊員と兼務することから「0」と記載。

※総務事務等に必要の人員の内訳は、管理職、本部及び各署日勤者(予防要員を除く)及び派遣職員である。

10 応援協定等

(1) 消防相互応援に関する協定

消防組織法第 39 条に基づき、大規模又は特殊な災害の消火、救急及び救助並びに大規模又は特異な火災の原因調査にかかる応援活動について締結している。

協 定 先	締結年月日	協 定 先	締結年月日
盛岡地区広域消防組合	平成 19 年 4 月 1 日	北上地区消防組合	平成 19 年 4 月 1 日
一 関 市 消 防 本 部	〃	二戸地区広域行政事務組合	〃
久慈広域連合消防本部	〃	釜石大槌地区行政事務組合	〃
大船渡地区消防組合	〃	陸前高田市消防本部	〃
遠野市消防本部	〃	湯沢雄勝広域市町村圏組合	平成 16 年 9 月 14 日
宮古地区広域行政組合	〃		
花巻市消防本部	〃		

(2) 東北自動車道消防相互応援協定

高速道路における火災、救急事故その他の災害に対して応援協定を結んでいる。

協 定 先	締結年月日	協 定 先	締結年月日
盛岡地区広域消防組合	昭和 52 年 11 月 19 日	北上地区消防組合	昭和 52 年 11 月 19 日
一 関 市 消 防 本 部	〃	二戸地区広域行政事務組合	平成元年 9 月 7 日
花巻市消防本部	〃		

(3) 岩手県防災ヘリコプター応援協定

岩手県内の市町村及び消防の一部事務組合は、その管轄区域内で発生した消防組織法第 1 条に定める災害において、防災ヘリコプターによる活動が最も有効と認められる場合は、岩手県に対し防災ヘリコプターの応援を求めることができる。

協 定 先	締結年月日
岩 手 県	平成 8 年 10 月 1 日
岩手県内各市町村	〃
岩手県内各消防本部	〃

(4) 重機車両応援協定

交通事故等の災害において、重機車両の活動が必要と認められる場合、民間企業と協定を結び協力を求めることができる。

協 定 先	締結年月日
有限会社 水沢ボデー	平成 10 年 3 月 1 日

(5) 災害、地震等の災害時における消防防災活動応援に関する協定

火災、地震等の消防防災活動に関し、ミキサー車等の特殊車両による消防活動用水の供給応援を求めることができる。

協 定 先	締結年月日
岩手県南生コン業協同組合	平成 24 年 3 月 23 日

(6) 東北横断自動車道釜石秋田線（宮守 IC～東和 IC）消防相互応援協定

東北横断自動車道における火災、救急事故その他の災害に対して応援協定を結んでいる。

協 定 先	締結年月日
遠 野 市 消 防 本 部	平成 24 年 4 月 13 日
花 巻 市 消 防 本 部	〃

(7) 災害時等緊急放送の協力に関する協定

大規模な災害等が発生し、又は発生するおそれがある場合に、住民等への情報伝達を行うことで、被害の予防及び軽減を図る目的で協定を結んでいる。

協 定 先	締結年月日
株 式 会 社 エフエム岩手	平成 25 年 2 月 14 日

(8) 火災、地震等の災害又は停電時における消防車両等への緊急供給に関する協定

大規模な火災、地震等の災害又は停電時の消防防災活動に必要な燃料の緊急供給に関し、民間企業と協定を結び協力を求めることができる。

協 定 先	締結年月日
管 内 企 業 1 社	平成 25 年 3 月 25 日

(9) 災害応急活動に必要となる物資等供給覚書

災害応急活動に必要となる物資の供給について、民間企業と覚書を結び協力を求めることができる。

協 定 先	締結年月日
管 内 企 業 3 6 社	平成 20 年 4 月 1 日
管 内 企 業 1 社	平成 25 年 1 月 10 日

(10) 緊急連絡カードの取扱いに係る覚書

奥州市社会福祉協議会は、一人暮らしの高齢者らを対象に、住所、氏名、電話番号、かかりつけ病院等が記入できる「緊急連絡カード」の配布を推進しており、緊急時に対応できるようにしている。

これに伴い、奥州市社会福祉協議会と連携を図り、スムーズな救急活動ができるよう覚書を結んでいる。

協 定 先	締結年月日
奥州市社会福祉協議会	平成 25 年 3 月 28 日

11 令和4年度中の主要な行事

4月1日	辞令交付式	市役所・消防本部
12日	岩手県消防長会4月定例会	盛岡市消防本部
15日	副市町長・主管部課長会議	組合事務局
19日	管理者・副管理者会議	組合事務局
27日	組合議会議員全員協議会、組合議会臨時会	組合事務局
27日	消防長会東北地区総会	秋田県
5月12日	副市町長・主管部課長会議	組合事務局
16日	管理者・副管理者会議	組合事務局
24日	組合議会議員全員協議会、組合議会臨時会	組合事務局
6月9日	消防学校校友会定例役員会	岩手県消防学校
16日	山岳登山訓練	焼石岳
28日	消防救助技術岩手県大会	岩手県消防学校
7月3日	胆江地区支部消防操法競技会	水沢消防署金ヶ崎分署
22日	総括安全関係者会議	消防本部
22日	ハラスメント撲滅推進会議	消防本部
24日	岩手県消防操法競技会	岩手県消防学校
27日	東北地区支部消防救助技術指導会	新潟県
8月18日	消防長会東北地区支部署長研修会	盛岡市
9月22日	岩手県消防殉職者慰霊祭	盛岡市
10月5日	職員勤続功労者表彰	組合事務局
7.8日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック訓練	青森県
18日	岩手県消防長会10月定例会	釜石市
26日	主管部課長会議	組合事務局
29日	岩手県総合防災訓練	大船渡市
11月2日	副市町長・主管部課長会議	組合事務局
2日	消防長会東北地区支部消防長研修会	宮城県

5日	胆江地区婦人消防のつどい	金ヶ崎町中央生涯教育センター
6日	文化財防火デー訓練	奥州市江刺
8日	管理者・副管理者会議	組合事務局
9日	秋季火災予防運動（15日まで）	
11日～14日	緊急消防援助隊全国合同訓練	静岡県
14日	議会議員全員協議会	組合事務局
18日	組合議会定例会	組合事務局
24日	濃煙熱気訓練	岩手県消防学校
12月16日	救急技術指導会	消防本部
28日	仕事納め	消防本部
(令和5年)		
1月4日	仕事始め	消防本部
10日	第15回奥州金ヶ崎行政事務組合消防職員意見発表会	消防本部
17日	副市町長・主管部課長会議	組合事務局
23日	管理者・副管理者会議	組合事務局
29日	文化財防火デー訓練	高野長英記念館
30日	組合議会議員全員協議会	組合事務局
2月3日	組合議会定例会	組合事務局
10日	岩手県消防職員意見発表会	盛岡市
10日	岩手県消防長会2月定例会	盛岡市
16日	総括安全担当者会議	消防本部
17日	岩手県消防署長会	盛岡市
3月1日	春季火災予防運動（7日まで）	
9日	議会議員全員協議会	組合事務局
9日	組合議会臨時会	組合事務局
16日	岩手県消防協会定例表彰式	盛岡市
31日	退職者辞令交付式	組合事務局

12 管理者等就任状況

管理者

氏名	在任期間	適用
相原 正明	平成 20 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 18 日	奥州市長
岩井 憲男	平成 22 年 3 月 19 日～平成 22 年 3 月 22 日	奥州市副市長(管理者代行)
小沢 昌記	平成 22 年 3 月 23 日～令和 4 年 3 月 18 日	奥州市長
倉成 淳	令和 4 年 3 月 19 日～現在に至る。	奥州市長

副管理者

氏名	在任期間	適用
高橋 由一	平成 20 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 18 日	金ヶ崎町長
江口 友之	平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日	奥州市副市長
及川 新太	平成 29 年 4 月 17 日～令和 4 年 3 月 31 日	奥州市副市長
高橋 寛寿	令和 4 年 3 月 19 日～現在に至る。	金ヶ崎町長
小野寺 隆夫	令和 4 年 4 月 1 日～現在に至る。	奥州市副市長

消防長

氏名	在任期間	適用
横倉 均	平成 23 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日	
及川 政喜	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日	
阿部 保之	平成 27 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	
及川 健	令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	奥州市から派遣
平 裕司	令和 3 年 4 月 1 月～令和 4 年 3 月 31 日	
千葉 典弘	令和 4 年 4 月 1 日～現在に至る。	奥州市から派遣

水沢消防署長

氏名	在任期間	適用
千葉 修一	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日	
千田 光男	平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日	
平 裕司	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日	
千葉 直	平成 29 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	
菅野 一美	令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	
高橋 洋男	令和 3 年 4 月 1 日～現在に至る。	

江刺消防署長

氏名	在任期間	適用
千葉 直	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日	
菅野 一美	平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日	
菊池 亮	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	
志和 純	令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	
菅野 一美	令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日	
平塚 孝	令和 4 年 4 月 1 日～現在に至る。	

13 職務内容

消防本部の職務内容

消防 総務 課	総務係	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防事務の政策、企画及び総合調整に関すること。 2 消防組織及び制度に関すること。 3 儀式、行事及び会議に関すること。 4 公印の管理に関すること。 5 叙位、叙勲及び表彰に関すること。 6 関係機関及び署所との連絡調整に関すること。 7 文書の収発及び整理保存に関すること。 8 消防に関する記録及び統計に関すること。 9 消防職員委員会に関すること。 10 予算の執行管理に関すること。 11 消防庁舎の維持管理に関すること。 12 消防関係財産の管理に関すること。 13 他課に属さない事務に関すること。
	人事係	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防職員の任免に関すること。(採用及び退職は除く。) 2 消防職員の分限及び懲戒に関すること。 3 消防職員の勤務時間その他勤務条件に関すること。 4 消防職員の服務及び規律に関すること。 5 消防職員の定数、階級及び職制に関すること。 6 消防職員安全衛生管理の統括に関すること。 7 消防職員の研修派遣に関すること。 8 消防職員の被服等の貸与に関すること。 9 その他消防職員の人事に関すること。
消防 救急 課	消防救助係	<ol style="list-style-type: none"> 1 警防計画及び警防本部等の運用に関すること。 2 消防隊の運用及び消防戦術の研究指導に関すること。 3 消防等相互応援協定及び運用に関すること。 4 救助活動の対策に関すること。 5 救助技術の研究及び指導に関すること。 6 消防活動に係る訓練及び演習に関すること。 7 消防隊員の安全管理に関すること。 8 特殊災害の消防活動技術の調査研究に関すること。

消 防 救 急 課	消防救助係	<ul style="list-style-type: none"> 9 消防団の指導等に関する事。 10 火災警報発令時の警戒活動に関する事。 11 消防救助の統計に関する事。 12 その他消防救助に関する事。
	救急係	<ul style="list-style-type: none"> 1 救急隊員の指導及び訓練に関する事。 2 救急業務の計画及び調査に関する事。 3 医療機関等との連絡調整に関する事。 4 救急資器材及び救急医薬品の管理に関する事。 5 救急の相互応援に関する事。 6 応急手当普及員及び啓発に関する事。 7 救急業務記録に関する事。 8 救急補償に関する事。 9 救急業務の統計調査に関する事。 10 胆江地域メディカルコントロール協議会に関する事。 11 その他救急に関する事。
	機械装備係	<ul style="list-style-type: none"> 1 消防車両及び消防機械器具の管理に関する事。 2 消防機械装備の調査研究に関する事。 3 機関員の技能管理に関する事。 4 消防車両及び消防機械器具の事故処理に関する事。 5 消防車両等の仕様及び検査に関する事。 6 その他機械装備に関する事。
	危機管理室	<ul style="list-style-type: none"> 1 構成市町の防災・国民保護部局等との連携協力に関する事。 2 大規模災害時の対応に関する事。 3 特殊災害時の対応に関する事。 4 消防組織法上の消防計画に関する事。 5 緊急消防援助隊に関する事。 6 緊急時の消防団との連携協力に関する事。 7 県防災航空隊との連携協力に関する事。 8 その他危機管理に関する事。
	通信指令室	<ul style="list-style-type: none"> 1 消防通信施設の管理運営に関する事。 2 災害発生通報の受付及び出動指令に関する事。 3 消防車両動態の管理に関する事。

<p style="text-align: center;">消 防 救 急 課</p>	<p style="text-align: center;">通信指令室</p>	<p>4 災害通信の運用、通信統制及び指導に関すること。</p> <p>5 防災関係機関との連絡調整に関すること。</p> <p>6 気象及び火災警報等の発令に関すること。</p> <p>7 災害情報管理に関すること。</p> <p>8 その他通信指令に関すること。</p>
<p style="text-align: center;">予 防 課</p>	<p style="text-align: center;">予防係</p>	<p>1 予防業務の総合企画に関すること。</p> <p>2 建築許可等の消防同意に関すること。</p> <p>3 住宅防火対策に関すること。</p> <p>4 消防用設備等の設置指導に関すること。</p> <p>5 相談及び火災予防広報に関すること。</p> <p>6 防火管理者等の講習及び育成指導に関すること。</p> <p>7 民間防火団体の育成指導に関すること。</p> <p>8 火災予防条例に関すること。(他の係に属するものを除く。)</p> <p>9 予防の統計調査に関すること。</p> <p>10 その他予防業務に関すること。</p>
	<p style="text-align: center;">査察係</p>	<p>1 予防査察の計画及び業務管理に関すること。</p> <p>2 防火対象物の違反処理に関すること。</p> <p>3 防火対象物の査察に関すること。</p> <p>4 屋外における火災予防措置に関すること。</p> <p>5 防火対象物の点検及び報告並びに消防用設備等又は特殊消防用設備等の点検及び報告に関すること。</p> <p>6 火災原因及び損害の調査に関すること。</p> <p>7 火災調査技術の指導に関すること。</p> <p>8 その他査察に関すること。</p>
	<p style="text-align: center;">危険物 保安係</p>	<p>1 危険物製造所等の許認可に関すること。</p> <p>2 危険物製造所等の火災及び人命危険の予防措置に関すること。</p> <p>3 危険物製造所等の査察に関すること。</p> <p>4 高圧ガス、火薬類、核燃料物質、放射性同位元素、毒劇物等の火災予防措置に関すること。</p> <p>5 液化石油ガス販売施設の意見書に関すること。</p> <p>7 危険物の統計に関すること。</p>

予防課	危険物保安係	<ul style="list-style-type: none"> 7 危険物製造所等の違反処理に関すること。 8 その他危険物保安に関すること。
-----	--------	--

水沢消防署の職務内容

水 沢 消 防 署	庶務係	<ul style="list-style-type: none"> 1 文書の収発及び整理保存に関すること。 2 署内事務の連絡調整に関すること。 3 消防職員の配置及び賞罰に関すること。 4 消防職員の服務及び規律に関すること。 5 署内教養訓練に関すること。 6 消防情報及び統計資料の収集に関すること。 7 分署に関すること。 8 他の係に属さない事務に関すること。
	消防救助係	<ul style="list-style-type: none"> 1 警防計画に関すること。 2 火災等の災害防ぎよ及び警戒に関すること。 3 消防隊の編成及び消防戦術に関すること。 4 消防水利及び地理の調査に関すること。 5 消防救助技術及び訓練に関すること。 6 消防通信に関すること。 7 消防機械器具の整備保全に関すること。 8 消防車両の運行管理、安全管理等に関すること。 9 消防団との連絡に関すること。 10 地震等の災害による被害の調査に関すること。 11 開発行為に係る消防水利の同意に関すること。 12 救助統計に関すること。
	救急係	<ul style="list-style-type: none"> 1 救急業務に関すること。 2 救急資器材の管理に関すること。 3 救急医療機関等との連絡に関すること。 4 救急記録に関すること。 5 救急搬送証明書の発行に関すること。 6 救急統計に関すること。
	予防指導係	<ul style="list-style-type: none"> 1 火災予防の計画及び指導に関すること。 2 防火管理者等の指導に関すること。

水 沢 消 防 署	予防指導係	<ul style="list-style-type: none"> 3 消防相談及び火災予防広報に関すること。 4 建築許可等の消防同意に関すること。 5 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。 6 民間防火団体の育成指導に関すること。
	査察調査係	<ul style="list-style-type: none"> 1 予防査察に関すること。 2 火災の原因及び損害の調査に関すること。 3 防火対象物の違反処理に関すること。 4 屋外における火災予防措置に関すること。 5 火災予防条例第6章に基づく届出に関すること。 (第45条第4号及び第5号を除く。) 6 火災証明書の発行に関すること。 7 火災統計に関すること。
	危険物係	<ul style="list-style-type: none"> 1 危険物の規制に関すること。 2 危険物製造所等の火災及び人命危険の予防措置に関すること。 3 危険物製造所等の査察に関すること。 4 高圧ガス、火薬類、核燃料物質、放射性同位元素、毒劇物等の火災予防措置に関すること。 5 危険物事務調査に関すること。 6 危険物製造所等の違反処理に関すること。 7 液化石油ガス販売施設等の調査に関すること。
水 沢 消 防 署	分署	<ul style="list-style-type: none"> 1 消防職員の服務及び規律に関すること。 2 署内教養訓練に関すること。 3 消防相談及び広報に関すること。 4 庁用物品の購入及び修繕に関すること。 5 庁舎の維持管理に関すること。 6 火災等の災害防ぎよ及び警戒に関すること。 7 消防水利及び地理の調査に関すること。 8 消防機械器具の整備保全に関すること。 9 火災予防の対策及び指導に関すること。 10 防火管理者等の指導に関すること。 11 予防査察に関すること。 12 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。

水 沢 消 防 署	分署	13 防火対象物の違反処理に関する事 14 地震等の災害による被害の調査に関する事 15 火災の原因及び損害の調査に関する事 16 消防団との連絡に関する事 17 救急業務に関する事 18 危険物の規制に関する事 19 液化石油ガス販売施設の設置等の調査に関する事 20 危険物製造所等の違反処理に関する事
-----------------------	----	--

江刺消防署の職務内容

江 刺 消 防 署	庶務係	1 文書の収発及び整理保存に関する事 2 署内事務の連絡調整に関する事 3 公印の管理に関する事 4 消防職員の配置及び賞罰に関する事 5 消防職員の服務及び規律に関する事 6 署内教養訓練に関する事 7 消防情報及び統計資料の収集に関する事 8 庁用物品の購入及び修繕に関する事 9 庁舎の維持管理に関する事 10 他の係に属さない事務に関する事
	消防救急係	1 警防計画に関する事 2 火災等の災害防ぎょ及び警戒に関する事 3 消防隊の編成及び消防戦術に関する事 4 消防救助技術及び訓練に関する事 5 消防水利及び地理の調査に関する事 6 消防通信に関する事 7 消防機械器具の整備保全に関する事 8 消防車両の運行管理、安全管理等に関する事 9 消防団との連絡に関する事 10 地震等の災害による被害の調査に関する事 11 開発行為に係る消防水利の同意に関する事 12 救急搬送証明書の発行に関する事

江 刺 消 防 署	消防救急係	<ul style="list-style-type: none"> 13 救急及び救助統計に関すること。 14 救急業務に関すること。 15 救急資器材の管理に関すること。 16 救急医療機関等との連絡に関すること。 17 救急記録に関すること。
	予防係	<ul style="list-style-type: none"> 1 防火管理者等の指導に関すること。 2 消防相談及び火災予防広報に関すること。 3 建築許可等の消防同意に関すること。 4 火災予防の計画及び指導に関すること。 5 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。 6 火災証明書の発行に関すること。 7 防火対象物の違反処理に関すること。 8 屋外における火災予防措置に関すること。 9 予防査察に関すること。 10 火災の原因及び損害の調査に関すること。 11 火災予防条例第6章に基づく届出に関すること。 (第45条第4号及び第5号を除く。) 12 火災統計に関すること。 13 民間防火団体の育成指導に関すること。
	危険物係	<ul style="list-style-type: none"> 1 危険物の規制に関すること。 2 危険物製造所等の火災及び人命危険の予防措置に関すること。 3 危険物製造所等の査察に関すること。 4 高圧ガス、火薬類、核燃料物質、放射性同位元素、毒劇物等の火災予防措置に関すること。 5 危険物事務調査に関すること。 6 危険物製造所等の違反処理に関すること。 7 液化石油ガス販売施設等の調査に関すること。

II 予 防 編

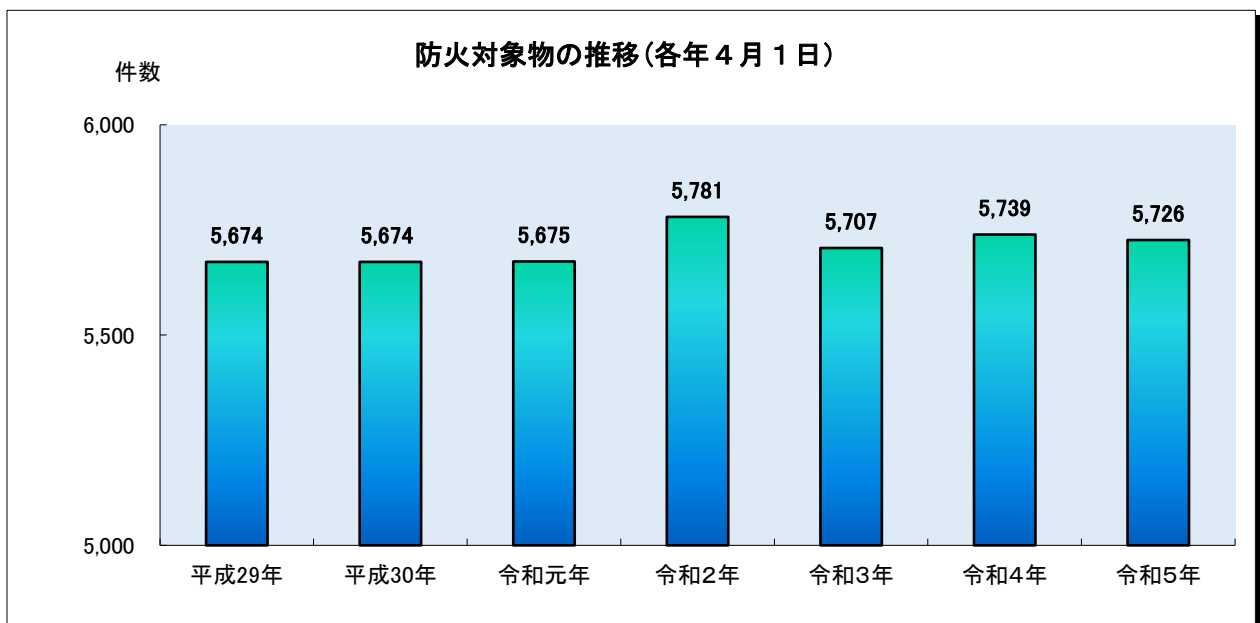
1 予防行政

近年、災害の多様化に伴い、消防法が改正され、消防用設備も先端技術が導入されるとともに、防火対象物の用途においても細分化や複合化が進むなど、新たな対応が求められている。

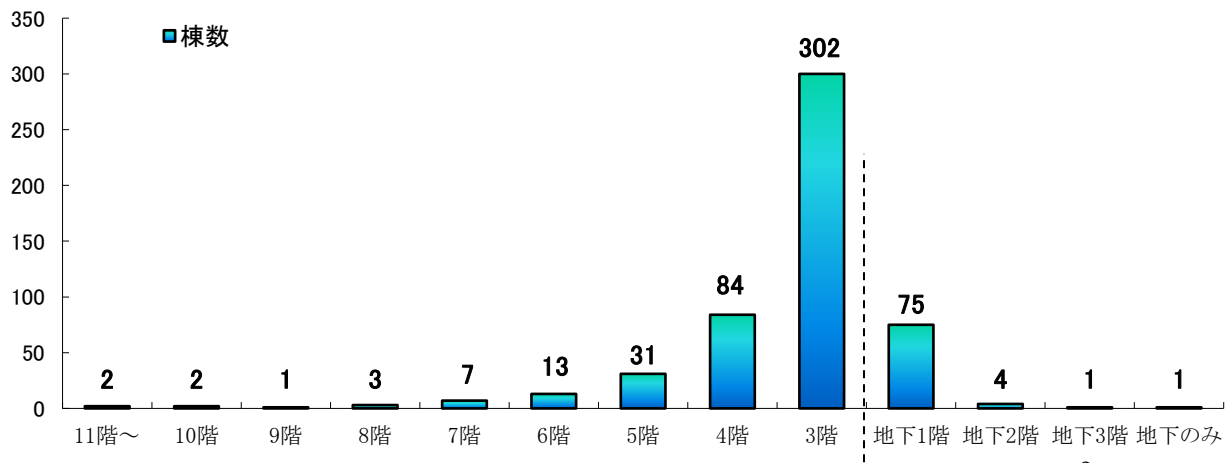
特に災害の未然防止のため、消防関係法令違反の防火対象物に対する積極的な是正指導を行うとともに、自主防災体制の強化について、関係者の理解と協力のもとに推進していく必要がある。

(1) 防火対象物の実態と査察実施状況

管内の防火対象物（消防法施行令別表第1に掲げるもの）は、令和5年4月1日現在5,726件を数え、ここ近年は、ほぼ横ばいとなっている。このうち、奥州金ヶ崎行政事務組合査察規程に基づき定期的に立入検査を実施し、防火安全の実態を調査し、法令違反の是正に努めている。



管内中高層等建築物(令和5年4月1日)



	奥州市	金ヶ崎町	管内合計
防火対象物数	4,891	835	5,726
査察件数	1,095	210	1,305
実施割合	22.39%	25.15%	22.79%

※ 実施割合は防火対象物の総数に対するもので、査察計画に基づく査察実施率とは異なる。

(2) 防火対象物定期点検報告制度と特例認定の実態

一定規模の防火対象物の管理権原を有するものに対して、防火管理の徹底を図るため、防火対象物点検資格者に防火管理上必要な業務等について点検させ、その結果を所轄消防署長に報告することを義務付けている。なお、特例認定を申請し検査の結果、一定期間継続して消防法令を遵守していると認められた場合は、その旨を表示できるとともに、点検報告の義務が3年間免除される。

当制度の該当となる管内の防火対象物は、令和5年4月1日現在170件を数え、このうち、特例認定を受けている防火対象物は52件、防火対象物定期点検報告を提出している防火対象物は65件となっている。

防火対象物定期点検報告の該当対象物等の状況

(令和5年4月1日現在)

区分	該当数	該当数		特例認定数	点検報告数
		収容人員 300人以上	特定1階段		
奥州市	146	143	3	44	62
金ヶ崎町	24	23	1	8	3
管内計	170	166	4	52	65

備考 特定1階段とは、3階以上又は地階から直接非難できる階段が1のもの。

(3) 防火管理者の選任現況

(令和5年4月1日現在)

		奥州市	金ヶ崎町	管内合計
防火対象物数	甲種	795	104	899
	乙種	208	14	222
防火管理者届出済み	甲種	771	104	875
	乙種	199	14	213
消防計画作成済み	甲種	763	104	867
	乙種	190	14	204

※ 対象物のうち部分的にのみ選任届出されているものは除く。

(4) 公表制度に係る主要な消防用設備等の設置現況

特定用途防火対象物に係る消防法令違反情報を公表する制度が開始されたことにより、その防火対象物を利用する方が自ら危険性に関する情報を入手し、利用について判断ができるよう、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備又は自動火災報知設備を設置していない特定用途防火対象物について、ホームページ上で公表している。

公表制度にかかる主な消防用設備の設置状況

(令和5年4月1日現在)

区分	特定用途防火対象物		非特定用途防火対象物	
	設置義務対象物	未設置違反	設置義務対象物	未設置違反
屋内消火栓設備	142	0	507	26
スプリンクラー設備	133	0	4	0
自動火災報知設備	915	0	1,336	33

備考

特定用途防火対象物：公民館、飲食店、店舗、病院及び福祉施設等、災害弱者や不特定多数が利用する建物をいう。

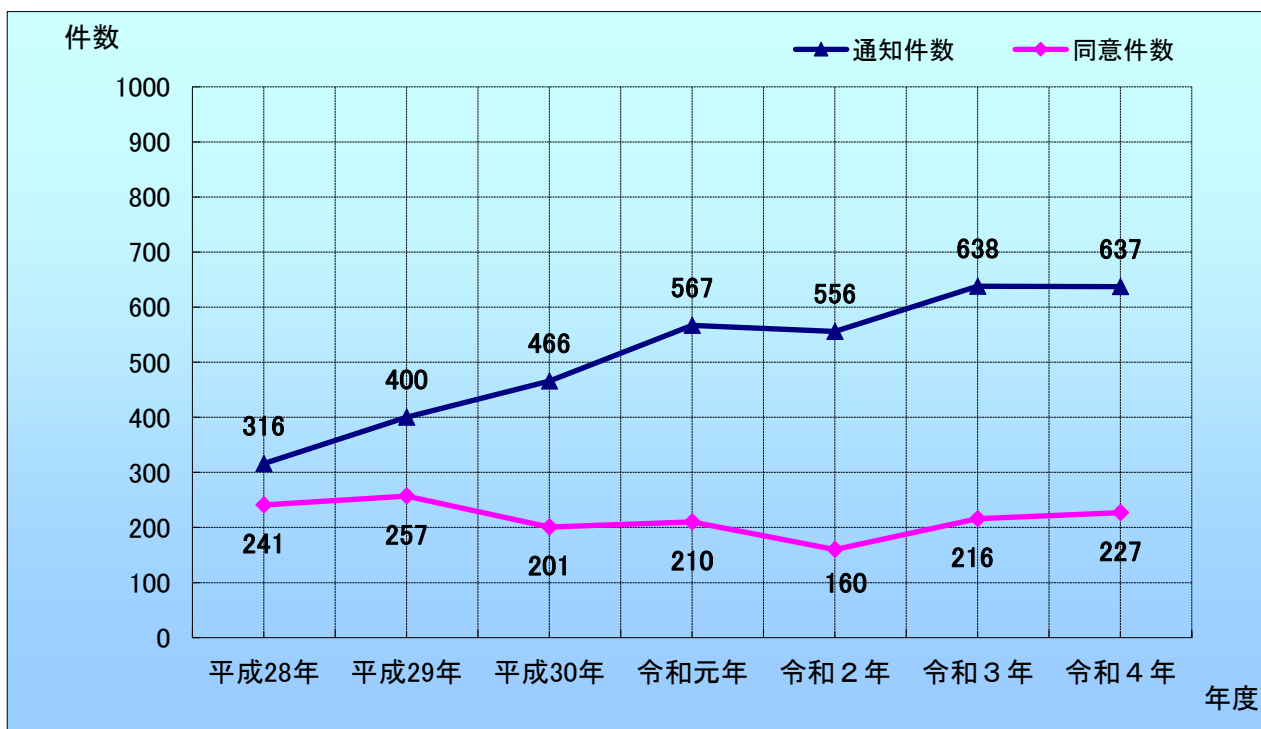
非特定用途防火対象物：学校、工場、倉庫及び事務所等、主に従業員や建物関係者のみが利用する建物をいう。

(5) 建築物の許可等の同意及び通知件数の状況

令和4年度中の消防同意処理件数は227件、通知件数は637件である。

都市計画事業の進展とともに、建築物の用途が複雑化し、審査事務は複雑多岐にわたっているが、きめ細かい行政指導は、防火安全性を高める上からも消防行政の重要な柱となっている。

消防同意及び通知件数の推移



2 危険物行政

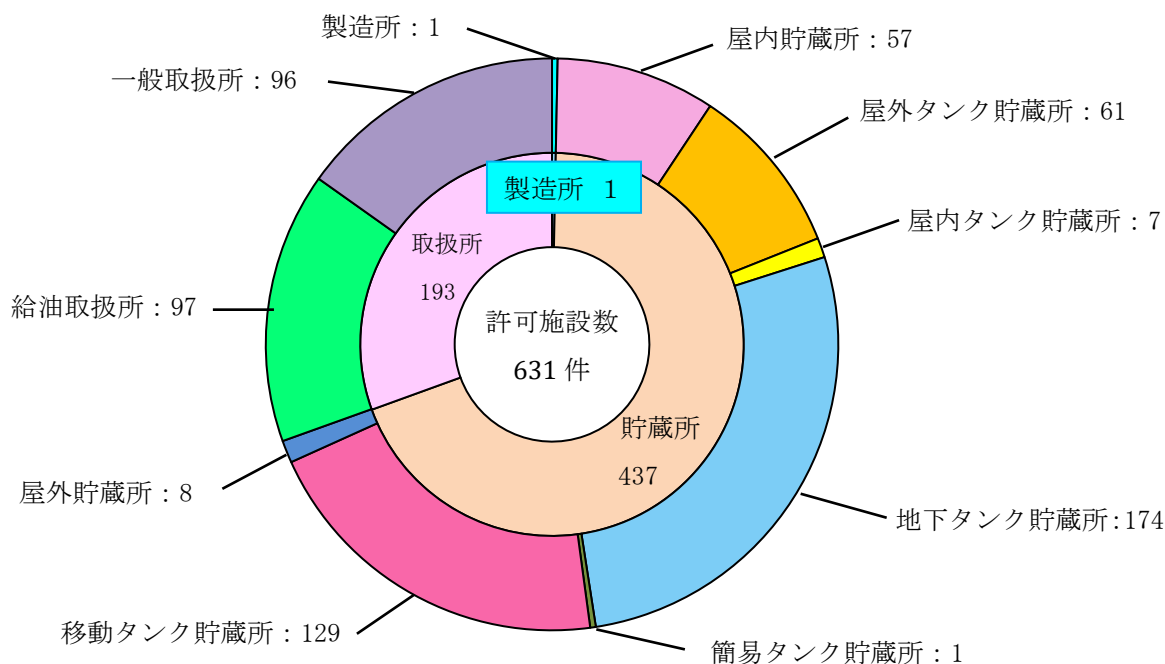
令和5年4月1日現在、管内の危険物施設の総数は631施設となっている。施設区別の割合をみると、貯蔵所が437施設と最も多く、次いで取扱所が193施設、製造所が1施設となっている。

また、危険物施設の事故発生状況は、過去5年間では火災が5件、危険物流出が1件発生している。

このことから、危険物施設の危険要因を把握し、保安体制の確立を構築していくことが極めて重要と考える。住民に安心を提供できるよう、厳正な許認可事務をはじめ、立入検査を強化する等、積極的な指導を図っているところである。

(1) 危険物施設の設置状況

令和5年4月1日現在



(2) 危険物規制対象施設数の現況

令和5年4月1日現在

区分	計	地域別	
		奥州市	金ヶ崎町
合計	631	495	136
製造所	1	1	
貯蔵所	437	342	95
屋内貯蔵所	57	41	16
屋外タンク貯蔵所	61	26	35
屋内タンク貯蔵所	7	5	2
地下タンク貯蔵所	174	145	29
簡易タンク貯蔵所	1	1	
移動タンク貯蔵所	129	117	12
屋外貯蔵所	8	7	1
取扱所	193	152	41
給油取扱所	97 (43)	78 (32)	19 (11)
第1種販売取扱所			
第2種販売取扱所			
移送取扱所			
一般取扱所	96	74	22

備考：1 給油取扱所の（ ）は、自家用の数

2 設置許可後、完成検査済証の交付を受けた施設である。

(3) 危険物関係申請件数及び手数料徴収状況

(件、千円)

区 分	令和4年度(A)		令和3年度(B)		比較(A)-(B)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
合 計	160	2,548	162	2,486	△ 2	62
危険物許可申請手数料	59	1,595	62	1,559	△ 3	36
完成検査申請手数料	57	715	57	701	0	14
仮使用承認申請等手数料	44	238	43	226	1	12

(4) 危険物許可等処理状況

(令和4年度)

区 分		計	地 域 別		
			奥州市	金ヶ崎町	
合 計	設 置	8	7	1	
	変 更	51	23	28	
	完 成	57	27	30	
製造所	設 置	0			
	変 更	0			
	完 成	0			
貯蔵所	屋内貯蔵所	設 置	4	3	1
		変 更	0		
		完 成	3	1	2
	屋外タンク貯蔵所	設 置	0		
		変 更	0		
		完 成	2		2
	屋内タンク貯蔵所	設 置	0		
		変 更	0		
		完 成	0		
地下タンク貯蔵所	設 置	0			
	変 更	0			
	完 成	0			
簡易タンク貯蔵所	設 置	0			
	変 更	0			
	完 成	0			
移動タンク貯蔵所	設 置	3	3		
	変 更	7	7		
	完 成	10	10		
屋外貯蔵所	設 置	0			
	変 更	0			
	完 成	1	1		
取扱所	給油取扱所	設 置	1	1	
		変 更	15	13	2
		完 成	15	13	2
	一般取扱所	設 置	0		
		変 更	29	3	26
		完 成	26	2	24
仮使用		44	14	30	

(5) 危険物施設設置数の推移

区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所			
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所
令和5年度	631	1	437	57	61	7	174	1	129	8	193	97		96
令和4年度	641	1	442	56	63	8	175	1	131	8	198	98		100
令和3年度	643	1	443	57	62	8	173	1	135	7	199	98		101
令和2年度	653	1	449	58	62	8	177	1	136	7	203	102		101
令和元年度	646	1	445	56	62	8	180	1	131	7	200	102		98

(6) 危険物施設における過去5年間の事故発生状況

(平成30年1月1日～令和4年12月31日)

発生年月日	地域別	施設区分	種別	事故概要
H30.10.16	金ヶ崎町	一般取扱所	火災	ガソリン注油装置のノズル付近から出火したもの
R3.6.14	金ヶ崎町	一般取扱所	火災	自動車バンパー製造過程において、漏れた合成樹脂が高温の金型により過熱され合成樹脂が燃えたもの
R3.6.19	金ヶ崎町	一般取扱所	火災	自動車バンパー製造過程において、合成樹脂注入部に残存していた合成樹脂が予熱中に過熱し燃えたもの
R3.12.10	前沢	移動タンク貯蔵所	流出	移送中、電柱に衝突しタンク左上部を破損。積載していた灯油約1,300ℓが流出したもの
R3.12.18	金ヶ崎町	移動タンク貯蔵所	火災	走行中、被けん引車後軸ドラムブレーキのブレーキシューとブレーキドラムの接触による摩擦熱により発火したもの
R4.8.10	金ヶ崎町	一般取扱所	火災	危険物を取扱う機械を洗浄中、洗浄ホースに帯電した静電気火花が可燃性蒸気に着火し、機械を囲っていたシートが焼損したもの

3 民間防火組織の現況

火災の発生原因は、たき火、火入れ、たばこの不始末、ストーブ、こんろ等による失火が大半を占めている。このことから、住民が自主的、かつ、積極的に火災を警戒することで、火災は大幅に減少できるものであり、民間防火組織の育成は極めて重要である。

令和5年4月1日現在の民間防火組織数は、幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び婦人消防協力会(隊)の83団体(14,972人)となっている。

これらの組織を統括している胆江地区幼少年婦人防火委員会では、例年「防火ポスターコンクール及び消防図画展」、「少年消防クラブリーダー研修会(隔年開催)」、「幼年消防クラブ防火パレード」、「婦人消防のつどい」などの行事を開催し、民間防火組織の育成に力を入れ、地域住民への防火思想の普及啓発に努めてきたところであるが、年々、組織数及び会員数が減少している状況が続いている。

(令和5年4月1日現在)

区 分	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		婦人消防協力会(隊)	
	組 織 数	人 員	組 織 数	人 員	組 織 数	人 員
奥 州 市	36	2,729	1	8	20	8,228
金 ヶ 崎 町	6	442	2	21	18	3,544
計	42	3,171	3	29	38	11,772

III 警 防 編

1 消防機動力

消防機動力の現有状況は、指揮車3台、ポンプ車（水槽付含む。）9台、高規格救急車9台、大型水槽車（10トン）2台、化学車2台、救助工作車、はしご車各1台、その他の車両23台となっている。

近年は大地震や、予想をはるかに超える大雨災害など、大規模又は広域的な災害が発生している。消防機関としては、消防機動力の整備強化を進め、地域住民の安全確保と災害による被害の軽減を図っていかなければならない。

(1) 消防車両の配置状況

令和5年4月1日現在(台)

区 分	合 計	消防本部	消 防 署						
			水沢消防署	前沢分署	金ヶ崎分署	胆沢分署	衣川分署	江刺消防署	東分遣所
計	50	3	18	4	4	4	4	11	2
普通消防ポンプ自動車	3		1					1	1
水槽付消防ポンプ自動車	6		2	1	1	1	1		
化学消防ポンプ自動車	2		1					1	
はしご付消防自動車	1		1						
大型水槽車	2		1					1	
救助工作車	1		1						
水難救助対応車	1	1							
高規格救急自動車	9		3	1	1	1	1	1	1
指揮車	3	1	1					1	
広報車	1		1						
連絡車	1		1						
査察兼広報車	6		1	1	1	1	1	1	
資機材搬送車	2		1					1	
人員輸送車	1	1							
救急指導車	3		1					2	
救急普及啓発車	1							1	
ボートトレーラー	1		1						
除雪機(ホイールローダ)	6		1	1	1	1	1	1	

(2) 消防車両の現有と使用状況

令和5年4月1日現在

区分	呼称	車両種別	乗員(人)	登録番号	年式	型式	排気量cc	導入年月日	総重量kg	納入業者	型別	備考
消防本部	奥州本部指揮1	指揮車	5	平泉800さ1398	R. 2	ニッサン DBA-NT32	1,990	R2.11.16	1,825	水沢日産		4WD
	奥州本部広報1	人員輸送車	15	岩手800さ7104	H. 14	トヨタ KG-LH186B	2,980	H14.9.18	2,915	岩手トヨタ		4WD
	奥州本部資機材1	水難救助対応車	6	平泉800さ1240	R. 1	ニッサン CBF-CS8E26	2,480	R1.11.28	3,375	水沢日産		4WD
	水沢ポンプ1	水槽付消防ポンプ車	6	平泉800は151	R. 2	日野 2KG-GX2ABA	5,120	R2.1.9	11,990	古川ポンプ製作所	水II型	水槽容量2,000ℓ ホースカー付 CAFS
	水沢ポンプ2	普通消防ポンプ車	5	岩手800さ3079	H. 12	トヨタ KG-HZJ79	4,160	H12.3.24	3,805	日本ドライケイメカル	BD-I型	4WD
	水沢ポンプ3	水槽付消防ポンプ車	6	岩手800は1243	H. 23	日野 BDG-GX7JGWA改	6,400	H23.3.24	10,810	古川ポンプ	水II型	水槽容量2,000ℓ CAFS
	水沢化学1	化学消防ポンプ車	6	平泉800は232	R. 5	日野 2KG-GX2ABA	5,120	R5.3.1	11,990	岩手総合商事	II型	水槽容量2,000ℓ 葉槽500ℓ
	水沢梯子1	はしご付消防車	6	岩手800は889	H. 19	イヴェコ	5,880	H19.3.26	15,430	モリタテクノス	30m級	先端屈折伸縮式 4WS
	水沢救助1	救助工作車	6	岩手800は1226	H. 23	日野 BDG-GX7JGWA改	6,400	H23.2.28	12,300	日本機械工業	II型	照明、クレーン、ウインチ等付
	水沢タンク1	大型水槽車	3	岩手800は1147	H. 22	BDG-FR1APYA改	8,860	H22.1.22	21,945	日本機械工業	II型	水槽容量10,000ℓ A-2級ポンプ付
水沢消防署	水沢救急1	高規格救急車	7	平泉800さ1032	H. 30	トヨタ CBF-TRH226S	2,690	H30.11.20	3,225	岩手トヨタ	高規格	4WD
	水沢救急2	高規格救急車	7	岩手800す6466	H. 23	トヨタ CBF-TRH226S	2,690	H23.11.29	3,265	岩手トヨタ	高規格	4WD
	水沢救急3	高規格救急車	7	岩手800す2235	H. 19	トヨタ CBF-TRH226S	2,690	H19.3.7	3,295	岩手トヨタ	高規格	4WD
	水沢指揮1	指揮車	5	平泉800さ1668	R. 4	トヨタ 3BF-THR226K	2,690	R4.3.22	2,625	互光商事	4WD	4WD
	水沢広報1	広報車	4	平泉880あ208	R. 3	ホンダ 6BA-JH4	650	R3.11.18	1,140	互光商事	4WD	4WD
	水沢広報2	連絡車	4	平泉590え400	H. 30	ホンダ ABA-HM4	650	H30.4.20	1,290	奥羽ホンダ販売株式会社	4WD	4WD 奇贈車(株式会社オノデラサイン)
	水沢広報3	査察兼広報車	5	平泉800さ1788	R. 4	トヨタ 5BA-M910A	990	R4.11.28	1,170	互光商事	4WD	4WD
	救急指導水沢1	救急指導車	7	岩手800す4845	H. 22	トヨタ CBF-TRH226S	2,690	H22.2.17	3,275	岩手トヨタ	高規格	4WD
	水沢資機材1	資機材搬送車	3	平泉800さ1292	R. 2	日野 2KG-XZU775M	4,000	R2.3.23	5,925	岩手総合商事	4WD	4WD
	ポーターレーラ	ポーターレーラ	—	岩手800る256	H. 16	SOREX BOAT18F		H16.12.9	730	株式会社マリネット		
前沢分署	除雪機	ホイールローダ	1	奥州市1	H. 20	三菱重工 WS210A	1,490	H19.11.8		機械商事株式会社		
	前沢ポンプ1	水槽付消防ポンプ車	6	岩手800は975	H. 20	日野 BDG-GX7JGWA改	6,400	H20.2.8	10,390	日本機械工業	水II型	水槽容量2,000ℓ
	前沢救急1	高規格救急車	7	平泉800さ1787	R. 4	トヨタ 3BF-TRH226S	2,690	R4.11.27	3,295	岩手トヨタ	高規格	4WD 電動ストレッチャ
	前沢広報1	査察兼広報車	5	岩手800す4190	H. 21	ニッサン DBA-NE11	1,490	H21.5.1	1,455	水沢日産	4WD	4WD
	除雪機	ホイールローダ	1	奥州市2	H. 20	三菱重工 WS210A	1,496	H20.10.20		機械商事株式会社		
	金ヶ崎ポンプ1	水槽付消防ポンプ車	6	平泉800は53	H. 27	日野 SDG-GX7JGAA改	6,400	H27.12.25	10,910	岩手総合商事	水II型	水槽容量2,000ℓ ホースカー付
	金ヶ崎救急1	高規格救急車	7	平泉800さ1368	R. 2	トヨタ 3BF-THR226S	2,690	R2.9.28	3,295	岩手トヨタ	高規格	4WD
	金ヶ崎広報1	査察兼広報車	5	平泉800さ1632	R. 3	トヨタ 3BA-NZE164G	1,490	R3.11.18	1,495	トヨタカローラ南岩手	4WD	4WD
	除雪機	ホイールローダ	1	金ヶ崎町11	H. 21	古川 FL303-2	1,496	H21.10.23		互光商事		
	胆沢ポンプ1	水槽付消防ポンプ車	6	岩手800は330	H. 13	日野 KK-GX1JGDA改	7,960	H13.7.10	9,650	岩手ポンプ	水II型	水槽容量2,000ℓ ホースカー付
金ヶ崎分署	胆沢救急1	高規格救急車	7	岩手800す5690	H. 23	トヨタ CBF-TRH226S	2,690	H23.3.18	3,325	岩手トヨタ	高規格	4WD
	胆沢広報1	査察兼広報車	7	岩手800さ8354	H. 15	ホンダ LA-RN2	1,660	H15.8.4	1,825	ホンダプリモ南岩手	4WD	4WD
	除雪機	ホイールローダ	1	奥州市ら63	H. 25	SA-TF37A	1,499	H25.10.29		東亜リース株式会社		
	衣川ポンプ1	水槽付消防ポンプ車	5	平泉800は213	R. 4	いすゞ 2PG-FSS90S2改	5,190	R4.3.18	11,915	古川ポンプ製作所	水II型	水槽容量2,000ℓ ホースカー付
	衣川救急1	高規格救急車	7	岩手800す7885	H. 25	トヨタ CBF-TRH226S	2,690	H25.2.28	3,285	岩手トヨタ	高規格	4WD
	衣川広報1	査察兼広報車	7	岩手800す2723	H. 19	ホンダ DBA-GB2	1,490	H19.9.24	1,745	ホンダプリモ南岩手	4WD	4WD
	除雪機	ホイールローダ	1	奥州市11	H.22	CAT901B	1,496	H22.9.30		機械商事株式会社		
	江刺ポンプ1	普通消防ポンプ車	5	平泉800さ830	H. 29	日野 TKG-XZU685M	4,000	H29.11.9	6,325	古川ポンプ	CD-I型	4WD
	江刺化学1	化学消防ポンプ車	5	平泉800は211	R. 4	日野 2KG-GX2ABA	5,120	R4.3.3	11,985	古川ポンプ	II型	4WD 水槽容量1,500ℓ 葉槽250ℓ×2
	江刺タンク1	大型水槽車	3	岩手800は410	H. 14	日野 KL-FS4FPHA	20,780	H14.3.29	21,975	GM いちほら	II型	水槽容量10,000ℓ 小型可搬ポンプ付
江刺消防署	江刺救急1	高規格救急車	7	平泉800さ897	H. 30	トヨタ CBF-TRH226S	2,690	H30.2.20	3,315	岩手トヨタ	高規格	4WD
	江刺指揮1	指揮車	5	岩手800す9404	H. 26	ニッサン DBA-NY12	1,490	H26.9.26	1,675	水沢日産	4WD	4WD
	江刺広報1	査察兼広報車	5	岩手800さ4651	H. 13	スバル GF-SF5	1,990	H13.3.22	1,685	岩手スバル	4WD	4WD
	救急普及啓発車	救急普及啓発車	7	平泉800さ14	H. 26	ニッサン ABG-DVW41	4,470	H26.11.20	4,595	(救急振興財団)		
	救急指導江刺1	救急指導車	7	平泉800さ318	H. 21	トヨタ CBF-TRH226S	2,690	H21.1.28	3,275	岩手トヨタ	4WD	4WD
	救急指導江刺2	救急指導車	7	岩手88す9958	H. 10	トヨタ GB-VCH38S	3,370	H10.3.12	3,065	岩手トヨタ	4WD	4WD
	江刺資機材1	資機材搬送車	3	岩手800さ6181	H. 14	いすゞ KK-NPS72LN	4,980	H14.2.8	7,995	文林商会	4WD	4WD 2.6 t クレーン付
	除雪機	ホイールローダ	1	奥州市12	H. 23	古川 FL303-3	1,499	H23.10.28		東亜リース株式会社		
	江刺東ポンプ1	普通消防ポンプ車	5	岩手800す3202	H. 20	日野 BDG-XZU378M	4,000	H20.3.20	6,225	モリ	CD-I型	4WD CAFS
	江刺東救急1	高規格救急車	7	平泉800さ1617	R. 3	トヨタ 3BF-TRH226S	2,690	R3.10.27	3,295	岩手トヨタ	高規格	4WD

(3) 緊急消防援助隊登録車両

令和5年4月1日現在

登録部隊	呼称	車両種別	登録人数	登録番号	部隊登録年月
消火部隊	水沢ポンプ3	水槽付消防ポンプ車水Ⅱ型	5	岩手800は1243	2014年4月
	前沢ポンプ1	水槽付消防ポンプ車水Ⅱ型	5	岩手800は975	2008年4月
	金ヶ崎ポンプ1	水槽付消防ポンプ車水Ⅱ型	5	平泉800は53	2016年4月
救助小隊	江刺化学1	化学消防ポンプ車Ⅱ型	5	平泉800は211	2022年4月
	水沢救助1	救助工作車Ⅱ型	5	岩手800は1226	2011年3月
救急小隊	水沢救急1	高規格救急車	3	岩手800さ1032	2019年4月
	衣川救急1	高規格救急車	3	岩手800す7885	2017年4月
	江刺救急1	高規格救急車	3	平泉800さ897	2018年2月
後方支援小隊	水沢資機材1	資機材搬送車	3	平泉800さ1292	2020年4月
	江刺資機材1	資機材搬送車	3	岩手800さ6181	2007年4月
特殊装備小隊	水沢梯子1	30m級はしご付消防車	5	岩手800は889	2007年4月

2 月別風速・気温・湿度・降水量状況

令和4年中

	風速				気温			湿度				降水量			
	平均 (m/s)	風向	最大瞬間 (m/s)	風向	平均 (°C)	最高 (°C)	最低 (°C)	平均 (%)	最高 (%)	最低 (%)	実効 (%)	10分最大 (mm)	時間最大 (mm)	日最大 (mm)	月積算 (mm)
1月	2.1	北	19.0	西北西	-1.8	5.5	-11.6	89.7	99.4	52.6	90.0	1.0	4.0	14.5	41.5
2月	2.4	北	21.8	西北西	-0.6	8.8	-8.6	85.7	99.4	40.9	86.6	0.5	1.5	4.0	13.0
3月	2.5	南	20.7	西北西	4.3	18.5	-4.3	80.2	99.3	29.4	80.1	1.0	4.0	17.5	71.5
4月	2.5	南	16.3	北北西	11.0	27.4	-1.8	73.8	99.5	24.6	73.8	1.5	5.0	24.5	64.0
5月	2.4	南	19.3	西北西	16.0	27.8	3.8	75.5	99.9	15.2	74.3	3.5	13.5	31.5	61.0
6月	2.4	南	14.4	西北西	19.6	32.7	9.6	85.2	99.7	42.3	85.2	5.0	17.0	19.5	94.5
7月	1.9	南	13.4	西北西	24.8	35.7	18.8	88.8	99.8	46.4	88.3	5.5	17.0	47.0	187.0
8月	2.0	南	15.5	南	23.7	34.1	13.5	91.7	100.0	47.9	90.6	15.5	25.5	44.5	303.0
9月	1.9	南	16.0	南南東	21.1	30.8	8.5	90.5	100.0	47.5	91.2	5.5	13.5	30.5	100.0
10月	1.9	南	13.5	西北西	13.2	27.5	0.1	86.5	100.0	42.4	86.4	2.0	8.0	32.5	61.5
11月	1.9	北西	17.7	北北西	8.7	21.0	-2.3	85.8	100.0	38.4	85.4	1.0	2.5	10.0	31.5
12月	1.8	南	17.6	西北西	1.2	9.9	-6.3	91.7	99.6	54.0	91.1	1.0	2.5	9.0	37.0

年間平均風速2.1(m/s)、年間積算雨量1,065.5(mm)、年間最高気温35.7(°C)【7月3日】、年間最低気温-11.6(°C)【1月19日】

3 無線系統図

消防本部・水沢消防署

おうしゅうほんぶ1	卓	型
みずさわほんぶ1	指	車
みずさわほんぶ2	ポ	車
みずさわほんぶ3	ポ	車
みずさわかがく1	ポ	車
みずさわタンク1	化	車
みずさわきゅうじよ1	大	車
みずさわはしご1	救	車
みずさわきゅう1	は	車
みずさわきゅう2	救	車
みずさわきゅう3	救	車
みずさわきゅう1	救	車
みずさわほう1	資	車
みずさわほう2	機	車
みずさわほう3	材	車
みずさわほう1	査	車
みずさわほう2	察	車
みずさわほう3	兼	車
みずさわほう1	広	車
みずさわほう2	報	車
みずさわほう3	告	車
みずさわほう1	資	車
みずさわほう2	器	車
みずさわほう3	材	車
みずさわほう1	携	車
みずさわほう2	帯	車
みずさわほう3	無	車
みずさわほう1	線	車
みずさわほう2	無	車
みずさわほう3	線	車

固定局 8局 8装置 (5W×5 2.5W×1
0.4W×2)

基地局 5局 16装置 (10W×5 2.5W×8
1W×2 0.5W×1)

陸上局 10W卓上型 9台 (市・町各1台含む)
10W車載型 44台
5W可搬型 2台
2W携帯型 83台

金ヶ崎分署

しょうぼうかねがさき1	卓	型
かねがさきポンプ1	ポ	車
かねがさききゅう1	救	車
かねがさきほう1	査	車
かねがさきほう1	察	車
かねがさきほう2	兼	車
かねがさきほう3	広	車
かねがさきほう4	報	車
かねがさきほう5	告	車
かねがさきほう6	携	車
かねがさきほう7	帯	車
かねがさきほう8	無	車
かねがさきほう9	線	車

胆沢分署

しょうぼういさわ1	卓	型
いさわポンプ1	ポ	車
いさわきゅう1	救	車
いさわほう1	査	車
いさわほう2	察	車
いさわほう3	兼	車
いさわほう4	広	車
いさわほう5	報	車
いさわほう6	告	車
いさわほう7	携	車
いさわほう8	帯	車
いさわほう9	無	車
いさわほう10	線	車

江刺消防署

しょうぼうえさし1	卓	型
えさし1	指	車
えさし2	ポ	車
えさし1	ポ	車
えさし1	ポ	車
えさし1	化	車
えさし1	大	車
えさし1	救	車
えさし1	資	車
えさし1	機	車
えさし1	材	車
えさし1	査	車
えさし1	察	車
えさし1	兼	車
えさし1	広	車
えさし1	報	車
えさし1	告	車
えさし1	携	車
えさし1	帯	車
えさし1	無	車
えさし1	線	車
えさし1	無	車
えさし1	線	車

東分遣所

しょうぼうえさし1	卓	型
えさし1	ポ	車
えさし1	ポ	車
えさし1	救	車
えさし1	急	車
えさし1	携	車
えさし1	帯	車
えさし1	無	車
えさし1	線	車

前沢分署

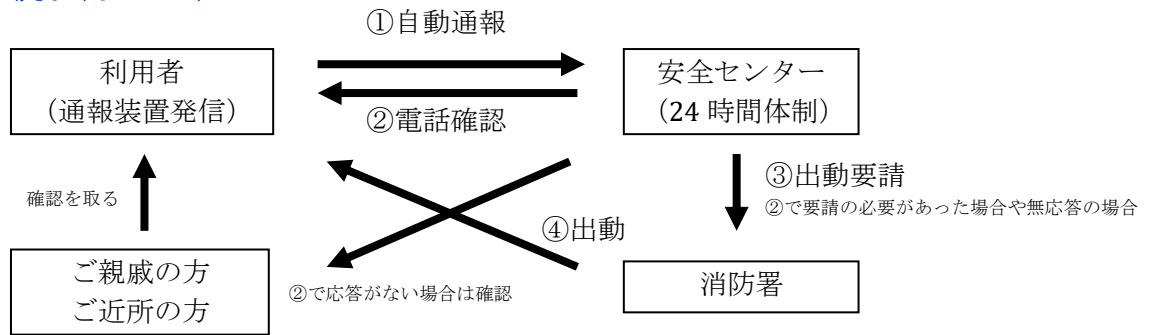
しょうぼうまえさわ1	卓	型
まえさわポンプ1	ポ	車
まえさわきゅう1	救	車
まえさわほう1	査	車
まえさわほう2	察	車
まえさわほう3	兼	車
まえさわほう4	広	車
まえさわほう5	報	車
まえさわほう6	告	車
まえさわほう7	携	車
まえさわほう8	帯	車
まえさわほう9	無	車
まえさわほう10	線	車

衣川分署

しょうぼうころもがわ1	卓	型
ころもがわポンプ1	ポ	車
ころもがわきゅう1	救	車
ころもがわほう1	査	車
ころもがわほう2	察	車
ころもがわほう3	兼	車
ころもがわほう4	広	車
ころもがわほう5	報	車
ころもがわほう6	告	車
ころもがわほう7	携	車
ころもがわほう8	帯	車
ころもがわほう9	無	車
ころもがわほう10	線	車

4 緊急通報装置を設置している世帯

○通報の流れ(イメージ)



○消防本部管轄内における利用者数

(令和4年12月31日現在)

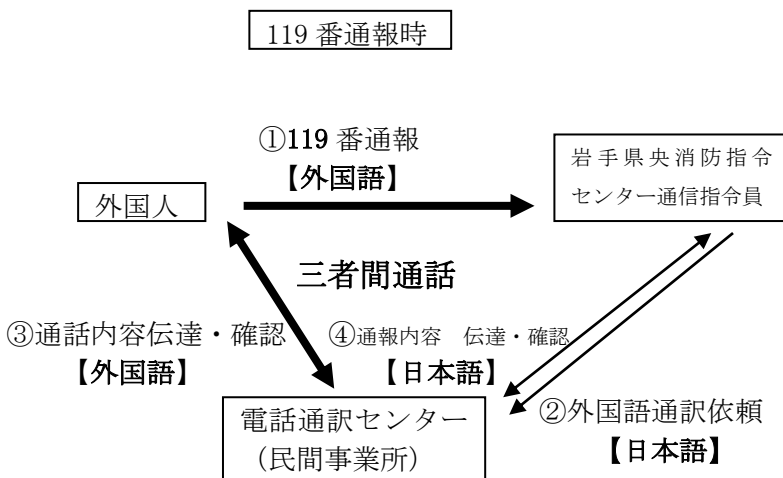
奥州市	金ヶ崎町	合計
286名	35名	321名

5 多言語通訳サービス (平成29年10月1日運用開始)

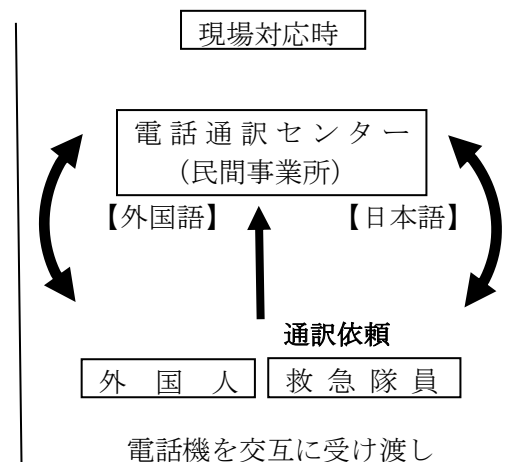
外国人からの119番通報時及び外国人のいる救急現場での活動時等において、電話通訳センターを介して、主要な言語において、24時間365日、迅速かつ的確に対応し、外国人を含め管内居住者の安心安全を確保しております。

なお、多言語通訳サービスは、英語、中国語、韓国語、スペイン語及びポルトガル語の5か国語に対応し運用しております。

○通信指令センター(三者間同時通訳の流れ)



○現場救急隊

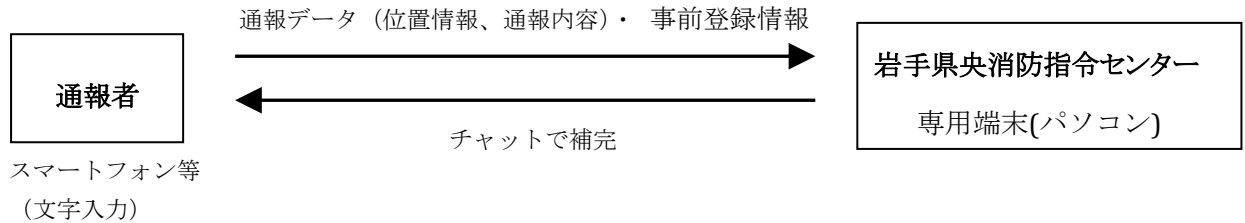


6 Net119 緊急通報について

会話に不自由な聴覚・言語機能障害者がスマートフォンなどの画面上のボタン操作や文字入力
で119番通報を行える「聴覚・言語障害者向けの緊急通報システム」です。利用には、事前登録
が必要です。

なお、旅行や出張でNet119未導入消防本部管轄内で119番通報した場合は、登録してある岩
手県央消防指令センターに入電します。

○通報の流れ(イメージ)



○消防本部管轄内における登録者数

(令和5年4月1日現在)

奥州市	金ケ崎町	合計
27名	14名	41名

7 救急ボイストラ(多言語音声翻訳アプリ)サービス (平成30年12月28日運用開始)

救急現場でスマートフォンのアプリを使用し、救急隊員が外国人傷病者に対して、円滑なコミュニケーションを図ることが可能になるサービスです。使用頻度が高い会話内容を「定型文」登録しているほか、スマートフォン自体で外国語の翻訳及び発声ができることから、聴覚障害者とのコミュニケーションにも活用が可能となっております。

※定型文有りの対応言語は15言語で、英語、中国語、韓国語、タイ語、フランス語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ミャンマー語、ロシア語、マレー語、ドイツ語、ネパール語、ブラジルポルトガル語、クメール語です。

※定型文無しの対応言語は14言語で、アラビア語、イタリア語、ウルドゥ語、オランダ語、シンハラ語、デンマーク語、トルコ語、ハンガリー語、ヒンディ語、フィリピン語、ポーランド語、ポルトガル語、モンゴル語、ラーオ語です。

8 通信施設の状況

令和5年4月1日現在

	計	消防本部 水沢消防署	前沢分署	金ヶ崎分署	胆沢分署	衣川分署	江刺消防署	東分遣所
一般加入電話(回線)	25	12	2	2	2	2	4	1
一般FAX	9	3	1	1	1	1	1	1
有線放送電話	1		1					
衛星携帯電話	13	6	1	1	1	1	2	1
携帯電話	21	8	2	2	2	2	3	2
庁内放送設備	7	1	1	1	1	1	1	1
県防災行政情報端末	1	1						
県防災行政無線FAX	1	1						
構内交換機内線電話器	51	34					17	

9 119番月別受理件数

令和4年中(件)

	合計	火災	救急	救助	その他
1月	641	5	517	5	114
2月	532	2	416	2	112
3月	518	4	393	1	120
4月	594	26	437	3	128
5月	517	4	412	2	99
6月	537	6	422	2	107
7月	624	2	498	8	116
8月	650	7	502	3	138
9月	552	8	409	4	131
10月	668	6	510	8	144
11月	596	8	470	5	113
12月	741	6	575	2	158
合計	7,170	84	5,561	45	1,480

IV 火災統計

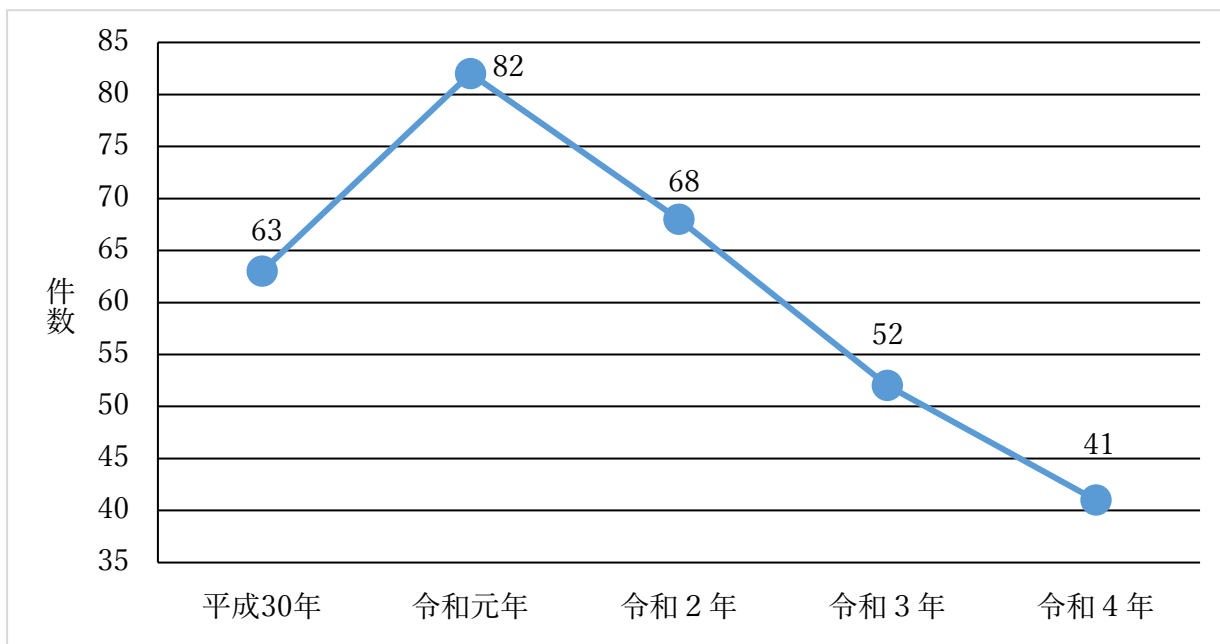
1 火 災

令和4年中の火災発生件数は41件で、その損害額は62,483千円となっている。前年と比較すると件数は11件減少したが、損害額は20,535千円の増加となっている。

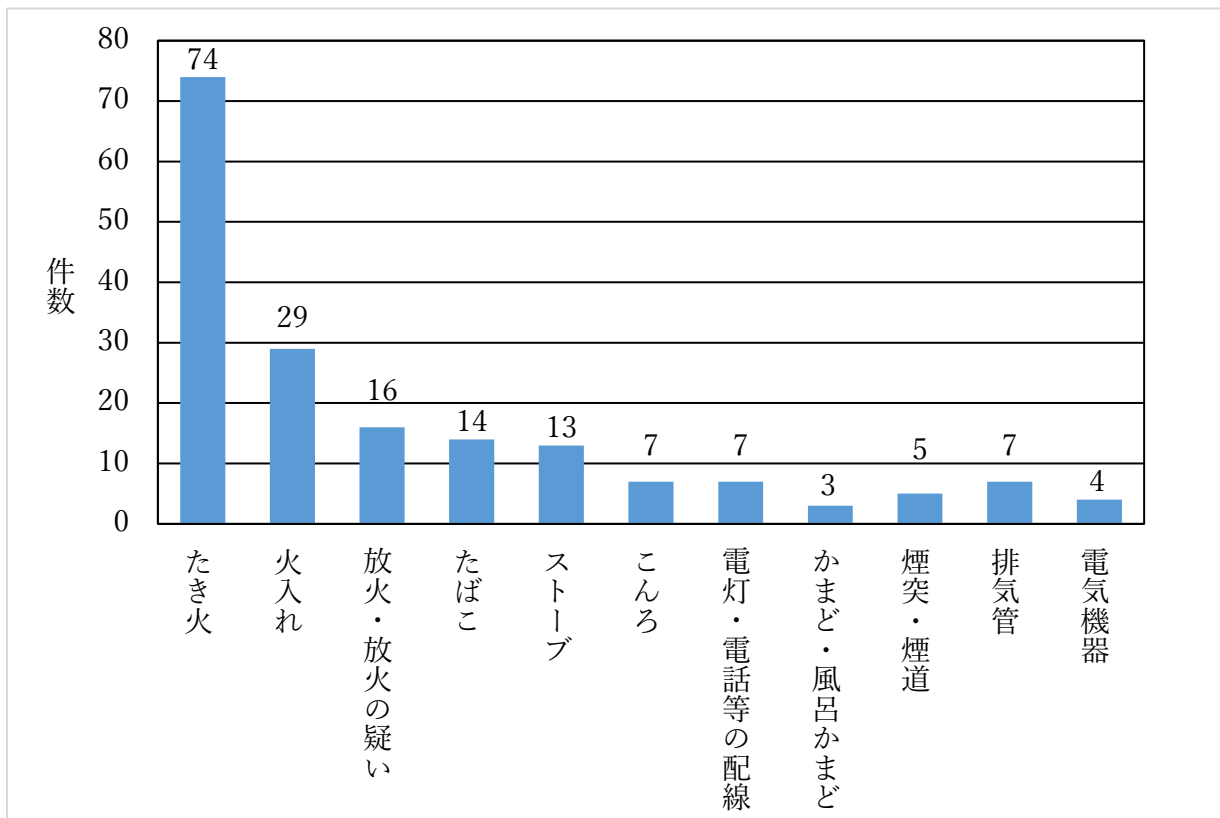
火災種別ごとの件数を前年と比較すると、建物火災は3件の減少、林野火災は3件の減少、車両火災は1件の減少、その他の火災は4件の減少とすべての火災種別において減少となっている。

※ 火災件数は、各年1月1日から12月31日までの間で計上する。

(1) 火災の発生状況 (過去5年)



(2) 出火原因の状況 (過去5年累計)



(3) 火災の概要

区 分	令和4年中 (A)	令和3年中 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
出火件数	41件	52件	△ 11件	△ 21.2
建物火災	21	24	△ 3	△ 12.5
林野火災	1	4	△ 3	△ 75.0
車両火災	6	7	△ 1	△ 14.3
船舶火災	0	0	0	—
その他の火災	13	17	△ 4	△ 23.5
爆 発	1	0	1	—
爆 発	1	0	1	—
焼 損 棟 数	36棟	36棟	0棟	0.0
全 焼 ※1	16	15	1	6.7
半 焼 ※2	1	3	△ 2	△ 66.7
部分焼 ※3	10	9	1	11
ぼ や ※4	9	9	0	0
建物焼損面積	2,537 m ²	2,363 m ²	174 m ²	7.4
林野焼損面積	1 アール	35 アール	△ 34 アール	△ 97.1
り 災 世 帯 数	13	19	△ 6	△ 31.6
全 損	7	9	△ 2	△ 22.2
半 損	0	1	△ 1	△ 100.0
小 損	6	9	△ 3	△ 33.3
り 災 人 数	37人	43人	△ 6人	△ 14.0
死 者	2人	1人	1人	100.0
負 傷 者	7人	5人	2人	40.0
損 害 額	62,483 千円	41,948 千円	20,535 千円	49.0
建 物	55,942	37,568	18,374	48.9
林 野	0	16	△ 16	△ 100.0
車 両	4,637	3,735	902	24.1
船 舶	0	0	0	—
そ の 他	1,904	629	1,275	202.7
出 火 率	3.23	4.04	△ 0.81	—

※1 建物の70%以上を焼損したものの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。

※2 建物の20%以上70%未満を焼損したものをいう。

※3 全焼、半焼及びぼやに該当しないものをいう。

※4 建物の10%未満を焼損したもので、かつ、焼損床面積若しくは焼損表面積が1 m²未満のもの又は収容物のみを焼損したものをいう。

(4) 令和4年火災発生状況

区分	出火件数				爆発	焼損棟数			焼損面積		り災世帯数			り災者数		死傷者数		損害額 (単位: 千円)										
	建物	林野	車両	船舶		その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物(m ²)	林野(a)	計	全損	半損	小損	計	死者	負傷者	計	建物	林野	車両	船舶	その他		
合計	41	21	1	6	0	13	1	36	16	1	10	9	2,537	1	13	7	0	6	37	9	2	7	62,483	55,942	0	4,637	0	1,904
1月	2	2						5	2		2	1	234		1	1			1	1		6,936	6,936					
2月	2	2						2	1		1	211		2	1		1	4	0			18,034	18,034					
3月	4	2	2					2	1	1		3		1	1		1	0				2,370	20	2,350				
4月	10	3	1		6			7	3	4		342		2	1		1	9	2	2	4,579	4,279	300					
5月	1		1					0					1	0					0			0						
6月	2				2			1	0					0					2	2	1,329		607				722	
7月	1				1			0						0					0			12					12	
8月	3	1	1		1			1			1			0					0			1,278	1	143			1,134	
9月	4	3			1			3	1	2	2	23		1			1	6	0			151	120			31		
10月	6	3	1		2			5	3	2	2	261		2	1		1	6	2	1	4,900	4,882	13			5		
11月	3	3						9	5	3	1	1,023		2	2		4	2	2	2	12,254	12,089	165					
12月	3	2	1					2	1		1	440		2	1		1	6	0		10,640	9,581	1,059					
水沢	6	3			3			3	1	1	1	463		1	1			5	0		12,986	11,762	90			1,134		
江刺	11	7	1		3			20	10	8	2	1,373		7	4		3	23	6	1	534,582	32,933	915			734		
前沢	3	1	1		1			1			1		1	0					0		36	36						
胆沢	8	4	1		3			6	4	2	2	676		3	2		1	7	2	1	7,472	7,423	13			36		
衣川	2				2			0						0					1	1	0	0						
金ヶ崎町	11	6		4	1			6	1	1	1	3	25	2			2	2	0		7,407	3,788	3,619					

(5) 時間別火災発生状況

令和4年中

区分 (時)	地域別出火件数						
	計	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	金ヶ崎町
0～1	0	0	0	0	0	0	0
1～2	0	0	0	0	0	0	0
2～3	3	1	1	0	1	0	0
3～4	1	0	1	0	0	0	0
4～5	0	0	0	0	0	0	0
5～6	2	0	0	0	0	0	2
6～7	1	0	0	0	0	0	1
7～8	0	0	0	0	0	0	0
8～9	2	0	1	0	0	0	1
9～10	2	0	0	0	0	0	2
10～11	3	1	1	0	0	0	1
11～12	4	1	1	0	1	0	1
小計(午前)	18	3	5	0	2	0	8
12～13	3	1	1	1	0	0	0
13～14	3	1	0	1	0	1	0
14～15	1	1	0	0	0	0	0
15～16	2	0	0	1	0	0	1
16～17	3	0	0	0	2	0	1
17～18	1	0	1	0	0	0	0
18～19	5	0	1	0	2	1	1
19～20	2	0	1	0	1	0	0
20～21	0	0	0	0	0	0	0
21～22	0	0	0	0	0	0	0
22～23	2	0	2	0	0	0	0
23～24	1	0	0	0	1	0	0
小計(午後)	23	3	6	3	6	2	3
不明	0	0	0	0	0	0	0
合計	41	6	11	3	8	2	11

(6) 火災による損害状況

区分	出火件数		建物焼損面積		損害額			
	件数	出火率	総面積	1件当たり	総額	1件当たり	人口1人当たり	1世帯当たり
令和4年	41	3.23	2,537 m ²	61.9 m ²	62,483 千円	1,524 千円	492 円	1,188 円
水沢	6	1.10	463	77.2	12,986	2,164	239	536
江刺	11	4.11	1,373	124.8	34,582	3,144	1,292	3,140
前沢	3	2.37	0	0.0	36	12	3	8
胆沢	8	5.62	676	84.5	7,472	934	525	1,467
衣川	2	5.43	0	0.0	0	0	0	0
金ヶ崎町	11	7.13	25	2.3	7,407	673	480	1,188
令和3年	52	4.04	2,363	45.4	41,948	807	326	802
令和2年	68	5.22	2,068	30.4	60,789	894	467	1,170
令和元年	82	6.23	2,359	28.8	80,356	980	611	1,554
平成30年	63	4.74	1,720	27.3	101,845	1,617	767	1,987
平成29年	52	3.86	4,138	79.6	71,687	1,379	533	1,406
平成28年	72	5.30	1,616	22.4	70,476	979	524	1,382
平成27年	86	6.26	5,458	63.5	319,088	3,710	2,324	6,319
平成26年	77	5.54	7,121	92.5	267,287	3,471	1,922	5,367
平成25年	69	4.92	1,519	22.0	158,196	2,293	1,129	3,195
平均	66.2	4.93	3,090	47.4	123,416	1,765	909	2,437

※ 出火率＝火災件数÷人口×10,000

(7) 出火原因の状況

区	分	令和4年												過去5年間 (平成30年～令和4年)					総 件 数							
		月別												地域別												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川		金ヶ崎町	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
合計	2	2	4	10	1	2	1	3	4	6	3	3	3	6	11	3	8	2	11	41	63	82	68	52	41	306
たば			1						1								1		1	2	2	4	3	3	2	14
ころ		1									1					1				2	1	3	1		2	7
かまど・風呂かまど												1			1					1		1		1	1	3
炉・焼却炉								1							1					1		2	1		1	4
ストーブ		1													1					1	2	3	3	4	1	13
こた			1								1								1	2					2	2
ポイラ																										
煙突・煙道									1						1					1	1	2	1		1	5
排気管			1									1							2	2	3	1		1	2	7
電気機器	1																		1	1	3				1	5
電気装置																	1			2	1			1	2	4
電灯・電話等の配線																						1	2	3	1	7
内燃機										2							2			2	1				2	3
配線器具				1											1					1		1		1	1	3
火遊び				2													1			2		1	2		2	5
マッチ・ライター																								1		1
たき火				4		1			1	1					1	1	2			7	12	19	23	13	7	74
溶接機・切断機																							1			1
灯火(ローソクなど)																						1	2			3
衝突の花										1					1					1		1			1	2
取灰															1					1			1		1	2
火入れ				1					1										2	2	11	9	2	5	2	29
放火・放火の疑い																						10	4	2		16
その他			1	2				2		1	1				2	1	1		3	7	15	15	15	12	7	64
不明	1				1	1														3	10	7	6	6	3	32

V 救急・救助統計

1 救 急

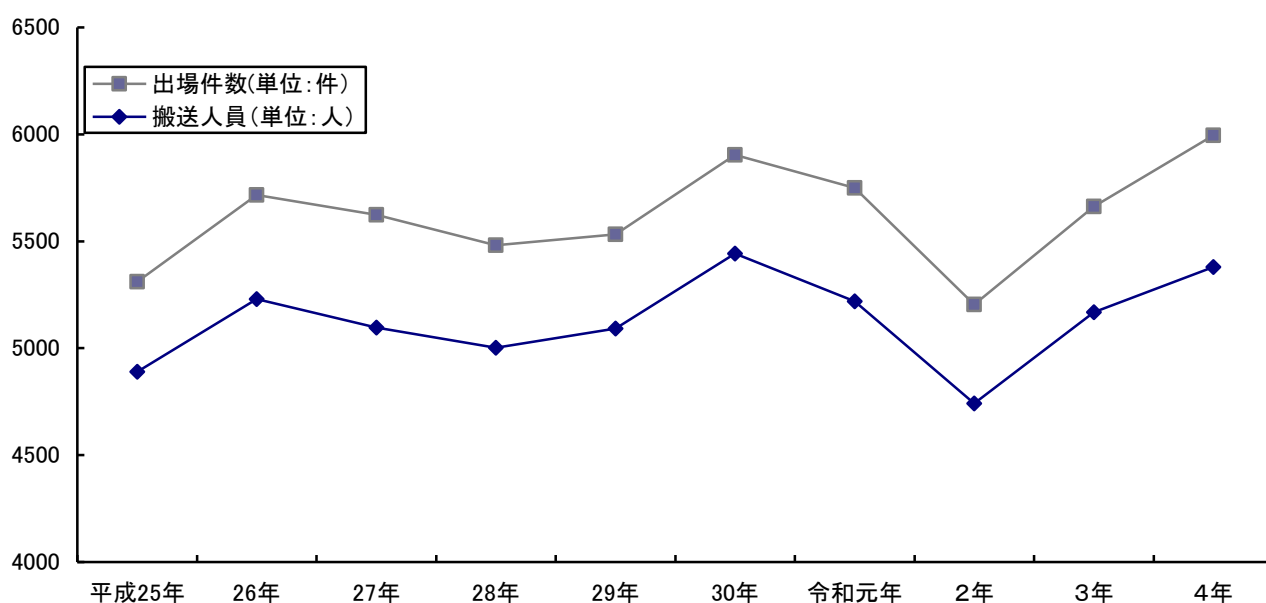
令和4年中の救急活動状況は、出場5,995件、搬送人員5,380人となっている。これは1日平均約16.4件となり、約1時間41分に1回出場し、管内に居住する住民のおよそ21人に1人が救急搬送されたことになる。搬送人員を事故種別にみると、最も多いのが急病3,744人、次いで一般負傷730人、転院搬送487人、交通事故275人の順となっている。

それに加え、保健所から委託を受けた新型コロナウイルス感染症患者の移送件数は130件、搬送人員130人となっている。

(1) 令和4年救急概況

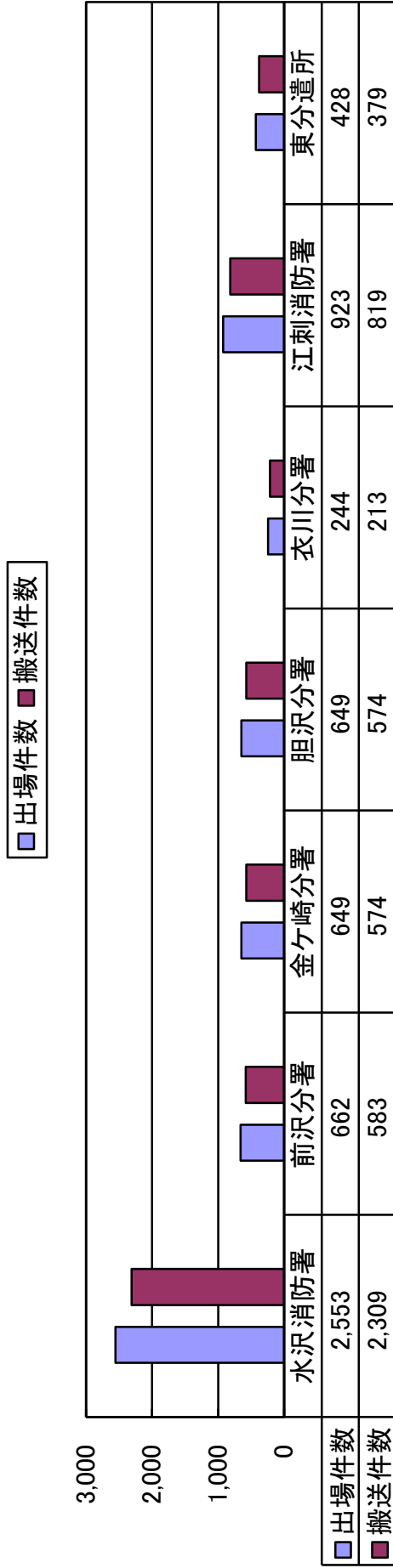
区 分	合計	急病	一般負傷	交通事故	運動競技	労働災害	転院搬送	その他
件数	5,995	4,149	788	299	19	78	487	175
%	100	69.2	13.1	5.0	0.3	1.3	8.1	3.0

(2) 救急出場及び救急搬送人員の推移（新型コロナウイルス感染症患者移送は含まず）



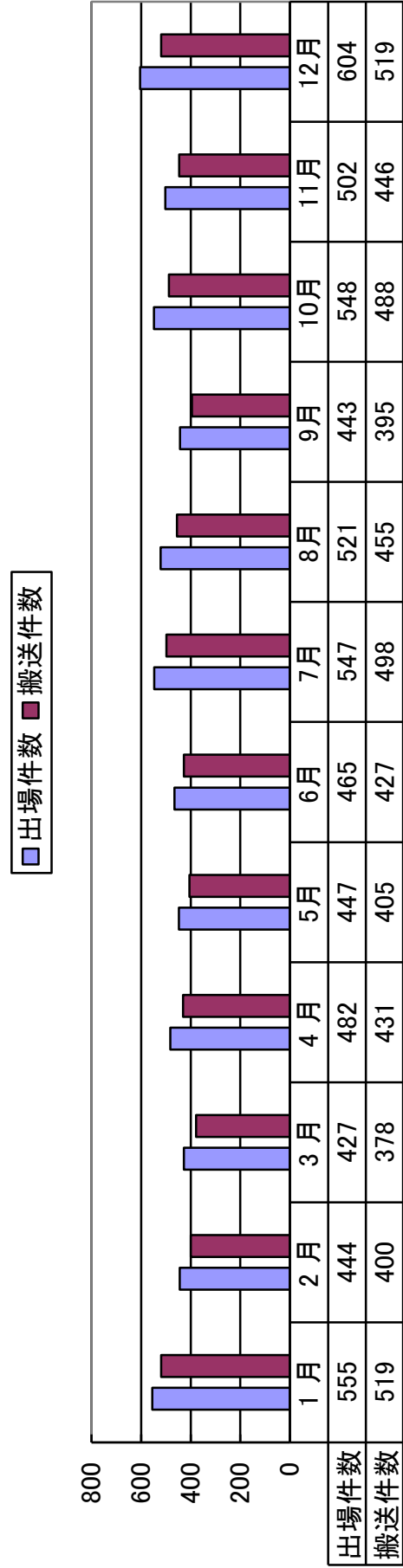
区 分	出場件数	搬送件数	搬送人員	不搬送件数	1日平均出動件数
令和4年	5,995	5,361	5,380	634	16.4
令和3年	5,662	5,151	5,169	493	15.5
令和2年	5,205	4,717	4,741	488	14.2

(3) 署所別救急活動状況



備考 水沢消防署は救急隊2隊、他署所は救急隊1隊

(4) 月別救急活動状況



(5) 事故種別傷病程度別搬送人員

令和4年中(人)

種別程度	事故種別搬送人員											
	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自行損為	急病	その他
計	5,380	7		2	275	76	19	730	11	28	3,744	488
死亡	161			2	2	1		11	1	2	141	1
重症	598	1			3	2	1	47		8	389	147
中等症	2,854	5			86	49	7	355	4	11	2,008	329
軽症	1,767	1			184	24	11	317	6	7	1,206	11
その他	0											

備考：傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき分類する。

死亡 = 死亡が確認されたもの

重症 = 傷病程度が3週間以上の入院加療を要するもの

中等症 = 傷病程度が重症又は軽症以外のもの

軽症 = 傷病程度が入院加療を必要としないもの

その他 = 医師の診断がないもの及びその他の場所へ搬送したもの

(6) 事故種別年齢区分別搬送人員

令和4年中(人)

年齢区分	事故種別搬送人員											
	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自行損為	急病	その他
計	5,380	7		2	275	76	19	730	11	28	3,744	488
新生児												
乳幼児	115				5			21			82	7
少年	108	1			21		11	14	1	2	54	4
成人	1,167	3		2	141	59	8	128	7	16	702	101
高齢者	3,990	3			108	17		567	3	10	2,906	376

備考：年齢の区分は、新生児＝生後28日以内、乳幼児＝生後29日以上満7歳未満、少年＝満7歳

以上満18歳未満、成人＝満18歳以上満65歳未満、高齢者＝満65歳以上に分類した。

(7) 過去5年間の救急関係所要時間

令和4年中(件)

	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年
現場到着平均所要時間	10.4分	10.2分	9.4分	9.3分	9.6分
病院収容平均所要時間	47.6分	45.0分	43.8分	43.2分	43.4分

備考

現場到着平均所要時間：出場から現場到着までに要した時間

病院収容平均所要時間：出場から傷病者を医療機関等に収容した時までに要した時間

(8) 救急隊員が行った応急処置件数

令和4年中

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	3,743	275	729	630	5,377
人工呼吸	82		10	5	97
胸骨圧迫	107		9	5	121
うち自動	36		3	2	41
心肺蘇生法	135	2	18	8	163
うち自動	27	1	4	3	35
酸素吸入	795	12	52	134	993
気道確保	256	2	21	14	293
うち経鼻エアウェイ	6				6
うち喉頭鏡等	5		1		6
★うちラリゲアルマスク等	20				20
★うち気管挿管	48	1	17	4	70
除細動	18		1		19
★静脈路確保	209	3	19	8	239
★薬剤投与	57	3	9	1	70
★血糖測定	111		1	2	114
★ブドウ糖投与	17				17
血圧測定	3,505	266	687	591	5,049
聴診器	1,623	156	174	94	2,047
血中酸素飽和度	3,548	266	693	611	5,118
心電図	3,298	137	407	426	4,268

備考：★は、救急救命士が行った特定行為の件数

(9) 事故種別搬送医療機関別搬送人員

令和4年中(件)

医療 機関別 事故	合 計	搬 送 病 院 名						そ の 他 の 医 療 機 関			
		胆 沢 病 院	水 沢 病 院	江 刺 病 院	奥 州 病 院	石 川 病 院	ま ご こ ろ 病 院	磐 井 病 院	中 部 病 院	そ の 他	
計	5,380	3,227	701	579	229	18	127	499	53	111	335
火災	7	3						4			4
自然 災害	0										
水難	2	2									
交通	275	100	47	42	56	1	3	26	1	10	15
労働 災害	76	51	5	5	3		2	10	2	3	5
運動 競技	19	10	2	3	2			2		1	1
一般 負傷	730	441	81	98	50		14	46	2	2	42
加害	11	5	2	1	3						
自損 行為	28	19	3	1				5	1		4
急病	3,744	2,265	552	424	111	17	106	269	36	66	167
その他	488	331	9	5	4		2	137	11	29	97

(10) 時間別救急出場件数

令和4年中(件)

区分	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
合計	5,995	4,149	299	788	759
0時～8時	1,141	914	40	130	57
8時～18時	3,600	2,302	222	491	585
18時～24時	1,254	933	37	167	117

(11) 事故種別不搬送理由別不搬送件数

令和4年中(件)

区分	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
計	634	405	41	59	129
辞退(到着前)	21	16	1	3	1
辞退(到着後)	223	171	16	30	6
搬送拒否	38	29	2	4	3
明らかな死亡	125	109	0	1	15
他車(隊)搬送	42	25	8	5	4
傷病者なし	77	11	10	8	48
誤報・いたづら	50	7	0	0	43
その他	58	37	4	8	9

(12) ドクターヘリ要請件数

令和4年中(件)

	要請件数	空路搬送	陸路搬送	キャンセル・不対応	備考
合計	43	16	9	18	

※キャンセル・不対応について

キャンセルの例:救急隊出場時に事故概要などからドクターヘリ要請するも、傷病者接触時に救急隊で対応可能と判断した事案など

不対応の例:ドクターヘリ要請するも、天候不順でフライト不可や他事案対応中事案など

(13) ドクターヘリ要請に係る事故種別

令和4年中(件)

要請件数	交通事故	一般負傷	急病	転院搬送	その他
43	5	20	7	1	10

(14) 周産期関係救急出動状況

年別	種別	転院	一般負傷	急病	交通事故	その他	合計	転院以外(%)
令和4年		6	0	9	0	0	15	60
令和3年		8	1	10	1	0	20	60
令和2年		28	0	4	0	0	32	12.5
令和元年		26	0	4	1	0	31	16.1
平成30年		33	0	2	0	0	35	5.7
合計		101	1	29	2	0	133	—

(15) バイスタンダーと蘇生率の推移

		令和4年	令和3年	令和2年
救急隊CPR ^{*1} 実施	(A)	164	210	183
バイスタンダー ^{*2} CPRあり	(B)	86	150	99
割合(%)	(B) / (A)	52.4%	71.4%	54.1%
病院収容前心拍再開数	(C)	13	26	27
病院収容前心拍再開率(%)	(C) / (A)	7.9%	12.4%	14.8%
1箇月生存数	(D)	2	9	10
1箇月生存率(%)	(D) / (A)	1.2%	4.3%	5.5%

*1 CPR:心肺蘇生法

*2 バイスタンダー:その場に居合わせた人

(16) 住民に対する応急手当普及啓発指導状況

(回・人)

区分	普通・上級救急講習 (再講習含む)		普及員講習		一般講習		合計	
	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員
令和4年	73	952	12	61	38	817	123	1,830
令和3年	27	196	4	39	25	840	56	1,075
令和2年	29	332	0	0	22	570	51	902
令和元年	79	1,345	3	61	85	2,346	167	3,752
平成30年	118	2,238	1	16	86	2,453	205	4,707

備考

普通救命講習 ～ 講習時間 3 時間 (講習内容 心肺蘇生法 (成人)、大出血時の止血法等)

上級救命講習 ～ 講習時間 8 時間 (講習内容 心肺蘇生法 (成人、小児、新生児)、大出血時の止血等傷病者管理法、外傷の手当、搬送法等)

普及員講習 ～ 講習時間24時間 (講習内容 基礎医学、基礎知識、救命に必要な応急手当の基礎、実技・指導要領、資器材の取扱要領・指導技法等、効果測定)

一般講習 ～ 講習時間 3 時間未満 (講習内容 応急手当一般講習)

2 救 助

令和4年中の交通事故等各種災害における救助出場件数は80件である。

近年の救助事象は、火災、交通事故等に加え、全国的に地震、集中豪雨による洪水や土砂崩れといった自然災害の多発、毒物・劇物による化学災害等、大規模かつ複雑化しており、多種多様な活動が求められる。

このことから、各種訓練を充実させ、高度な知識と技術の錬磨を重ね、住民に安心を提供できるよう、更なる救助体制の充実強化に努めていく。

(1)救助業務活動状況の推移

年 別	種 別	合 計	火 災	交 通 事 故	水 難	自 然 災 害	機 械 によ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	建 物 事 故	そ の 他 の 事 故
令和4年	出場件数	80		41	8		4		13	14
	活動件数	35		14	3		4		6	8
	救助人員	37		16	3		4		6	8
令和3年	出場件数	83		47	3		5			12
	活動件数	36		24	3		1			3
	救助人員	39		27	3		1			3
令和2年	出場件数	71		37	3	1	1		16	29
	活動件数	30		16	2		1		5	11
	救助人員	36		23	2		1		5	10
令和元年	出場件数	77		39	3		5			30
	活動件数	32		18	1					13
	救助人員	37		23	1					13
平成30年	出場件数	101		67	3	4	6			21
	活動件数	52		32	2	2	3			13
	救助人員	58		37	2	3	3			13

(2)危険排除等業務活動状況の推移

年 別	種 別	合 計	非 火 災	危 険 物 流 出	自 火 報 発 報	現 場 調 査	救 急 支 援	そ の 他
令和4年		854	34	33	21	12	731	23
令和3年		716	19	19	27	20	583	48
令和2年		817	25	23	19	25	715	10
令和元年		872	18	31	32	53	720	18
平成30年		957	23	42	22	39	780	51

備考

- 非火災 ～ 火災又は火災の疑いがあり出動したが、火災ではなかったもの。
- 危険物流出 ～ 油等の危険物が流れ出したもの。また、その疑いがあり出動したもの。
- 自火報発報 ～ 自動火災報知設備が作動し出動したもの。
- 現場調査 ～ 通報事案の調査のため出動したもの。
- 救急支援 ～ 救急活動の支援を目的に消防隊が出動したもの。
- その他 ～ 上記以外のもの。

(3) 防災ヘリ要請件数

種 別 年 別	合計	火災	救助	救急
令和4年	4		3	1
令和3年	5		3	2
令和2年	12	5	6	1
令和元年	5	1	2	2
平成30年	4	1	2	1

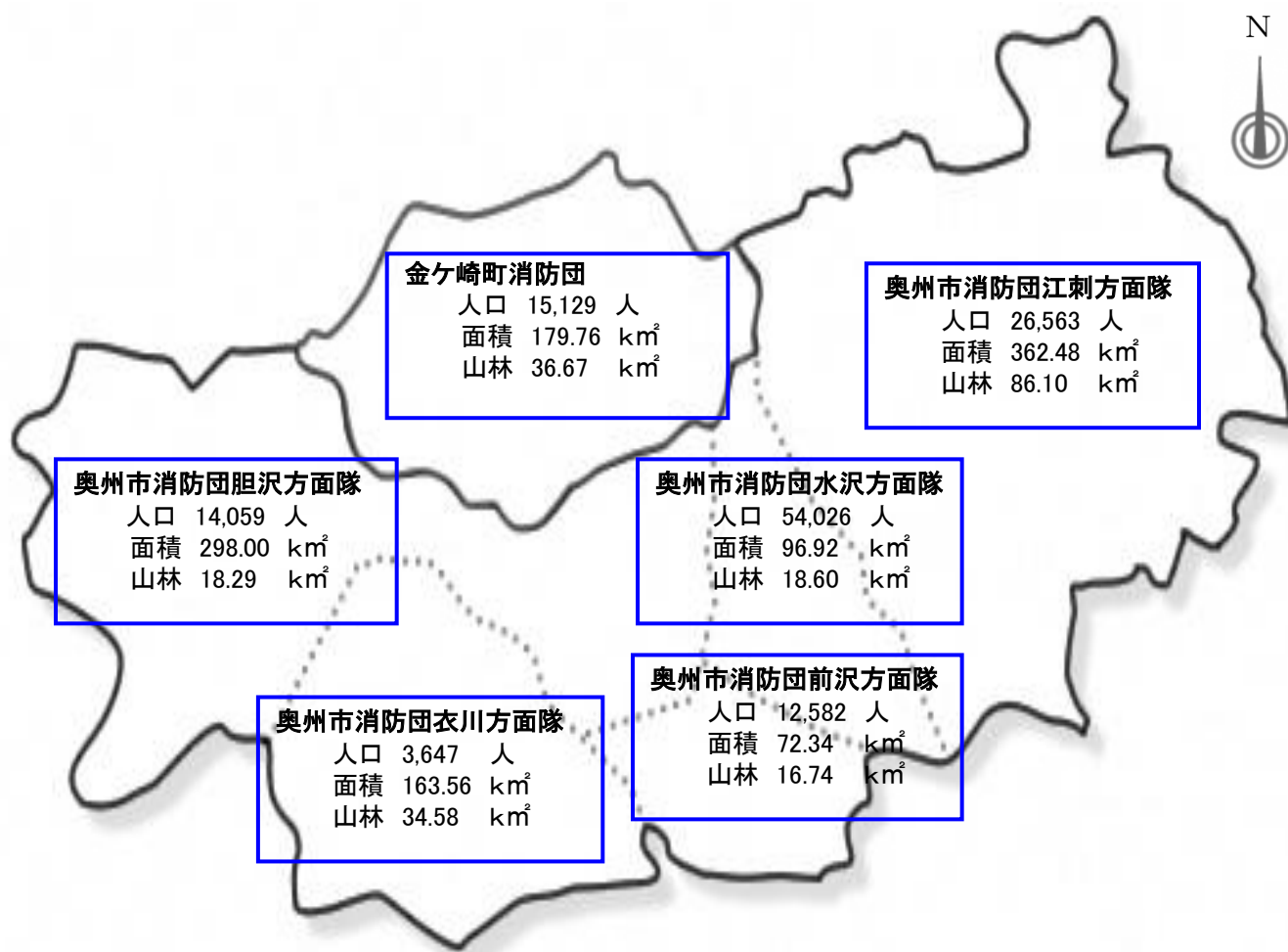
VI 參考資料

1 消防団管轄区域

令和5年4月1日現在

山林面積は令和5年4月1日の数値

※私有林面積を除く。



2 消防団の概要

令和5年4月1日現在

区分	消防団数	分団数	部数	消防団員数	
				条例定数(人)	実員(人)
計	2	40	144	2,300	1,856
奥州市	1	36	127	1,900	1,531
金ヶ崎町	1	4	17	400	325

3 令和5年度 消防費歳出予算額(当初)の概要

区分	令和5年度消防費歳出予算額		一般会計歳出予算額 (千円)	令和4年度消防費歳出予算額		一般会計歳出予算額 (千円)
	(A) (千円)	うち非常備消防費(B) (千円)		(A) (千円)	うち非常備消防費(B) (千円)	
計	2,422,183	389,749	71,212,017	2,192,065	230,223	66,024,950
奥州市	2,000,605	340,498	61,576,000	1,826,393	183,868	58,460,200
金ヶ崎町	421,578	49,251	9,636,017	365,672	46,355	7,564,750

区分	令和5年度一般会計歳出予算額と 消防費の割合		人口1人当たり の消防費 (円)	1世帯当たり の消防費 (円)	令和4年度一般会計歳出予算額と 消防費の割合		人口1人当たり の消防費 (円)	1世帯当たり の消防費 (円)
	(A)/(C) (%)	うち消防団費の 割合(B)/(C)(%)			(A)/(C) (%)	うち消防団費の 割合(B)/(C)(%)		
計	3.40	0.55	19,223	46,022	3.32	0.35	17,152	41,887
奥州市	3.25	0.55	18,062	43,151	3.12	0.31	16,229	39,576
金ヶ崎町	4.38	0.51	27,663	67,259	4.83	0.61	23,950	59,132

備考：令和5年4月1日現在

奥州市人口 110,766 人
金ヶ崎町人口 15,240 人
合計 126,006 人

世帯数 46,363 世帯
世帯数 6,268 世帯
世帯数 52,631 世帯

令和4年4月1日現在

奥州市人口 112,538 人
金ヶ崎町人口 15,268 人
合計 127,806 人

世帯数 46,149 世帯
世帯数 6,184 世帯
世帯数 52,333 世帯

4 消防水利の現況

令和5年4月1日現在

区分	奥州市					奥州市計	金ヶ崎町	計
	水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川			
消火栓	897	390	273	474	96	2,130	265	2,395
防火水槽	152	216	148	99	57	672	100	772
計	1,049	606	421	573	153	2,802	365	3,167

5 消防機械の現有状況

令和5年4月1日現在（台）

区分		計	消防ポンプ 自動車	積載車	小型動力 ポンプ	広報車
計		295	40	122	127	6
奥州市	水沢	78	9	34	34	1
	江刺	83	12	35	35	1
	前沢	37	6	15	15	1
	胆沢	28	5	11	11	1
	衣川	35	2	16	16	1
金ケ崎町	34	6	11	16	1	

6 階級別消防団員数

令和5年4月1日現在（台）

区分	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	1,856	2	13	60	50	175	314	1,242
奥州市	1,531	1	9	52	45	153	256	1,015
金ケ崎町	325	1	4	8	5	22	58	227

消防本部、各署所の所在地・電話番号

署 所 名	所 在 地	電 話 番 号
消 防 本 部 水 沢 消 防 署	〒023-0854 奥州市水沢大鐘町二丁目 16 番地	T E L 0197(24)7211(代) F A X 0197(23)6009 0197(23)6239
江 刺 消 防 署	〒023-1103 奥州市江刺西大通り 3 番 8 号	T E L 0197(35)8119(代) F A X 0197(35)4317
水 沢 消 防 署 前 沢 分 署	〒029-4201 奥州市前沢古城字島田 135 番地	T E L 0197(56)3820 F A X 0197(56)6748
水 沢 消 防 署 金 ヶ 崎 分 署	〒029-4503 金ヶ崎町西根北宿内 78 番地 1	T E L 0197(44)2442 F A X 0197(44)3688
水 沢 消 防 署 胆 沢 分 署	〒023-0402 奥州市胆沢小山字小十文字 39 番地 2	T E L 0197(46)2441 F A X 0197(46)2921
水 沢 消 防 署 衣 川 分 署	〒029-4341 奥州市衣川六道 7 番地 1	T E L 0197(52)3226 F A X 0197(52)3505
江 刺 消 防 署 東 分 遣 所	〒023-1134 奥州市江刺玉里字青篠 199 番地 5	T E L 0197(36)2119(代) F A X 0197(36)2118

災害（火災等）の問い合わせ

T E L 0197(22)2119

○ホームページアドレス

<http://ok-gyousei.jp>

○メールアドレス

◆ 消防総務課 soumu119@ok-fire.jp

◆ 消防救急課 syoubou119@ok-fire.jp

◆ 予 防 課 yobou119@ok-fire.jp

消防年報(令和5年版)

令和5年10月発行

編集・発行

岩手県奥州市水沢大鐘町二丁目 16 番地

奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部消防総務課

T E L 0197(24)7211 (代表)

F A X 0197(23)6009 (通信指令室)

F A X 0197(23)6239 (消防総務課)
